

# Society5.0時代の過疎地域における 地域コミュニティ再生の可能性

東京大学フィールドスタディ型  
政策協働プログラム提案書

山形県鶴岡市温海庁舎

# 山形県鶴岡市（温海地域）の紹介

## 山形県鶴岡市

- ▶ 山形県庄内地方の南部に位置し、古くは庄内藩の城下町として栄える。
- ▶ 平成17年10月1日、鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、**温海町**の1市4町1村が合併し、新鶴岡市が発足。
- ▶ 鶴岡市の人口は約12万人で、県内では2番目、面積は1,311.53 km<sup>2</sup>（東京23区の約2倍）東北では一番広い市となる。



## 温海地域

- ▶ 三方を摩耶山系の豊かな山々に囲まれ、西側には変化に富んだ海岸線が続く、自然の魅力が凝縮された地域
- ▶ 自然に育まれた高品質の農林水産物
- ▶ 温海温泉は、開湯1200年の県内有数の温泉地



◀ 400年以上続く伝統的焼き畑農法での栽培「温海かぶ」



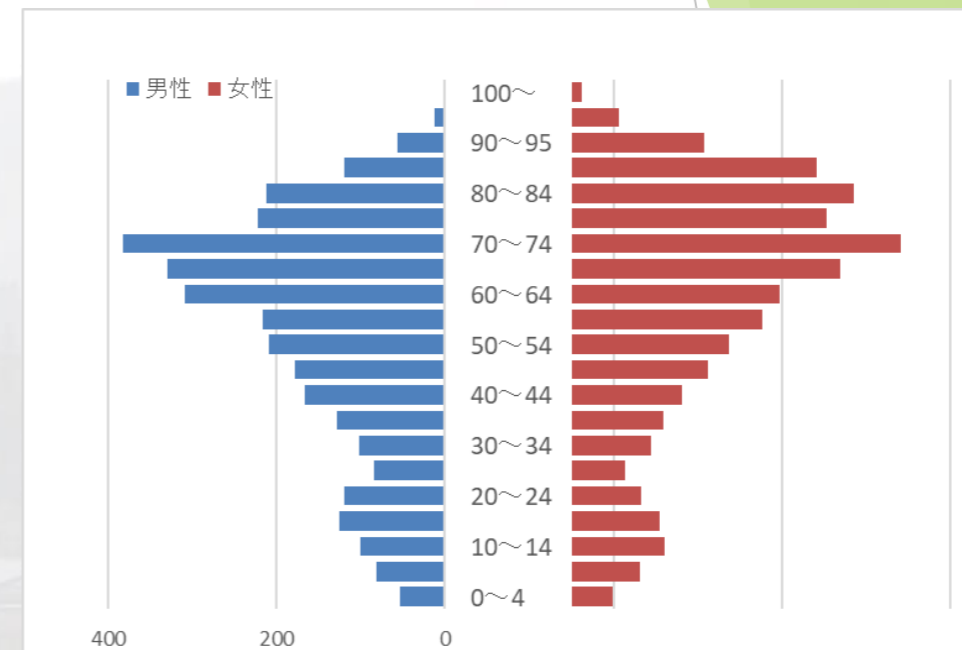
◀ しなの木の樹皮繊維を糸にする伝統的工芸品「羽越しな布」

# 温海地域の課題①

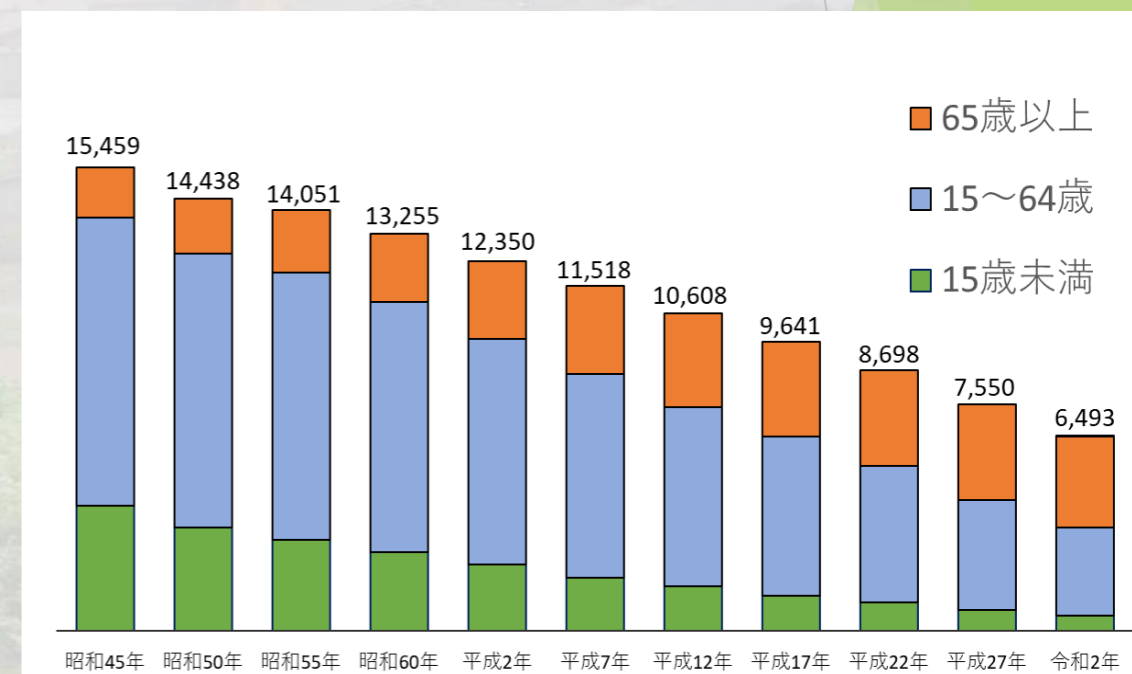
一方で . . . .

- ▶ 土砂災害、津波等の自然災害のリスクが高い
- ▶ 農業は地形的制約から大規模化が難しく、経営効率は低い
- ▶ 工業団地もなく、小規模事業者が主であり、若者の就業の場が不足
- ▶ 利用者減少によるバス路線の廃止、減便
- ▶ 商店や医療機関等生活サービス機能が低下
- ▶ 少子化による保育園、小中学校の統廃合、県立高校の廃校
- ▶ 人口減少、高齢化により、人材不足、財政難等集落の自治機能が低下、地域文化の継承も困難に

## ▶ 温海地域の人口ピラミッド



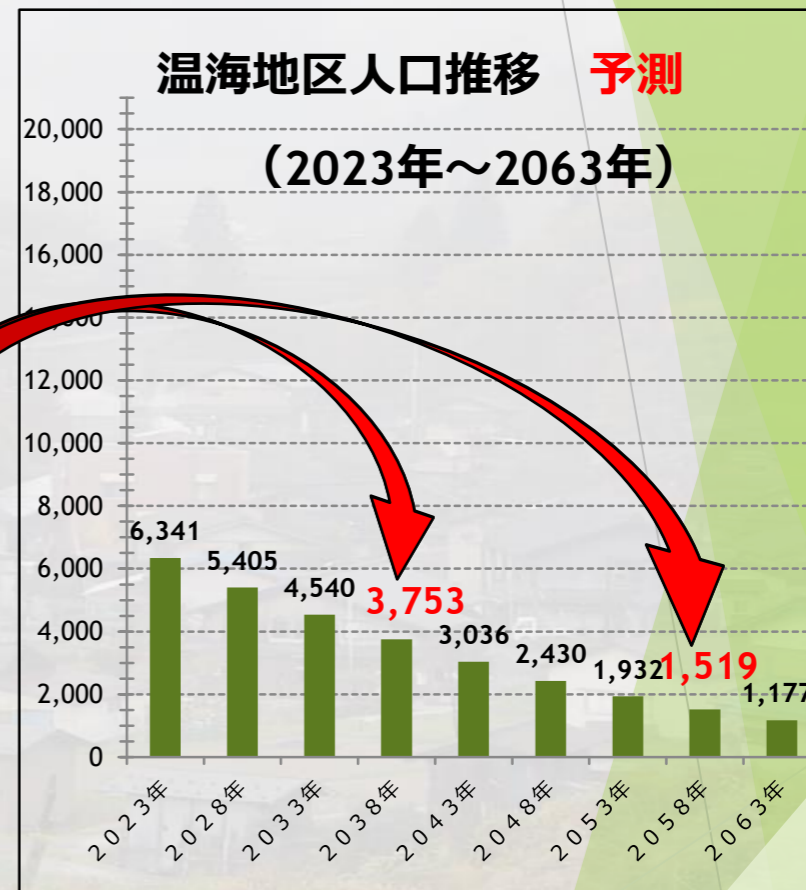
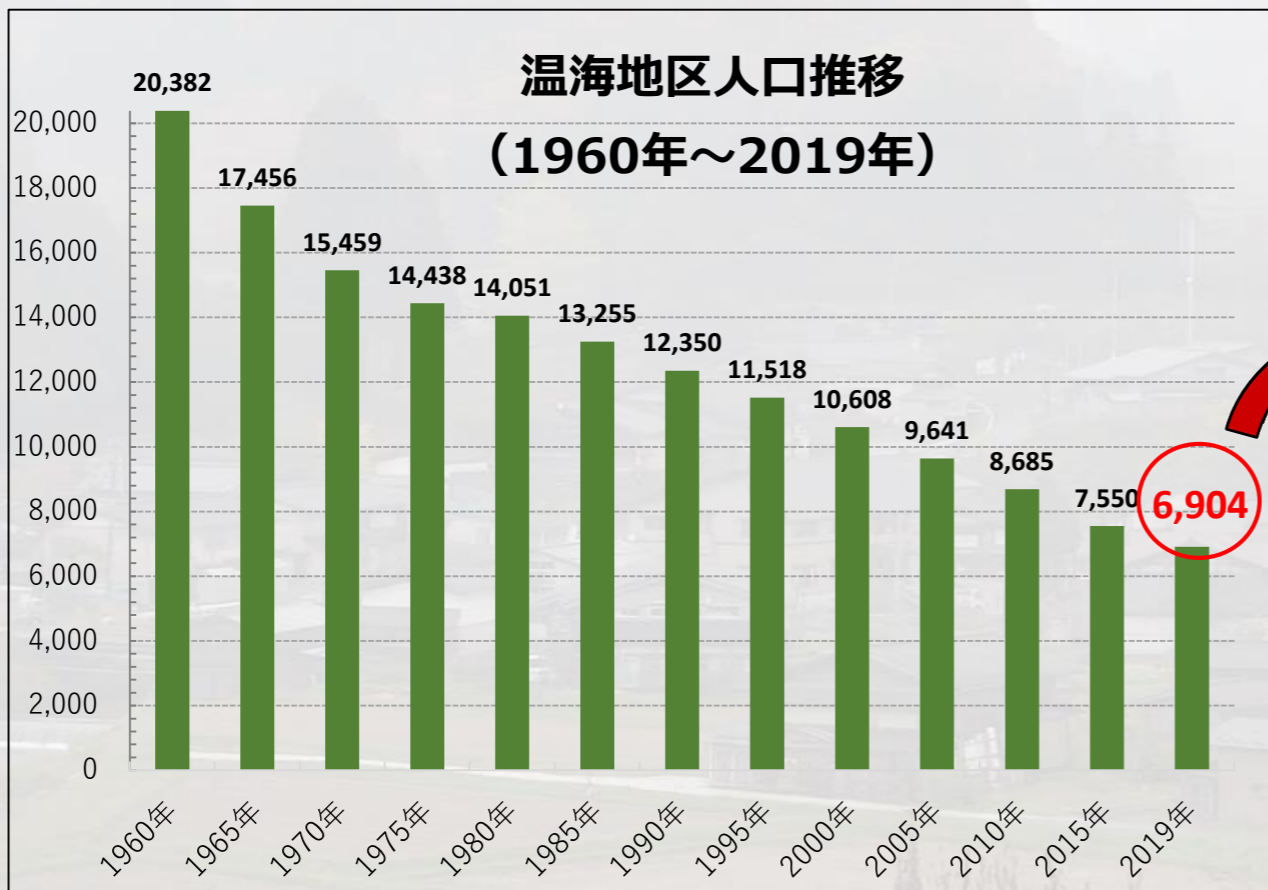
## ▶ 温海地域の年齢層別人口推移



# 温海地域の課題②

## ▶ 温海地域の人口予測シミュレーション

(現状のコーホート変化率・修正率・若者転出率で計算)



温海地域は、鶴岡市街地から30～40 km離れていることから、子育て世代を中心とした若い年代層が市街地へ転出し続けた結果、毎年200人が減少。現在は、1960年(昭和35年)の約**1/3**。このまま推移すると・・・20年後**1/2**に！40年後**1/5**に！これまで維持・継承されてきた地域行事や祭典、伝統芸能・文化、農作業、地域の共同作業などの実施、継続が難しくなっている。

# 関係人口の創出・拡大

## ▶ Society5.0時代にふさわしい仕組みづくり

経済財政運営と改革の基本方針2019〔令和元年6月21日閣議決定〕

東京一極集中の是正、地方への新たな人の流れの創出

- 特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の増加、二地域  
居住・就業の推進

## ▶ デジタル田園都市国家構想総合戦略〔令和4年12月23日閣議決定〕

第2章 1-(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題の解決・魅力向上

② 人の流れを作る【関係人口の創出・拡大等、2地域居住の推進】

## ▶ 第2期 鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔令和2年3月〕

【基本目標2】 ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす

具体的な施策

- (1) 移住・定住・地元回帰の促進
- (2) 関係人口・交流人口の拡大

# プログラムのテーマ・スケジュール

## ▶ 関係人口として温海と繋がる仕組みづくり・土壌づくり

温海地域の人口減少に歯止めをかけることは難しいと考えるが、地域外の人に対し、温海地域の担い手としての活躍を促すことで、地域の活力を維持・発展させ、多くの若者との関わりの中で住民が刺激を受け、交流が新たな価値を生むなど、地域活動が活性化することを期待している。

地域課題の解決には、外部人材の協力が必要不可欠である。地方に関わりを持ちたいと考えている**20代～30代の「都市住民」が温海地域に関わる仕組みの提案**と、都市住民の視点で魅力とを感じる**コンテンツ、関わりしろの洗い出し、磨き上げについて調査、分析**をお願いしたい。また、地域の内外を越えたメンバーが継続して地域づくりに関わっていく仕組みを一緒に考えていただきたい。

## ▶ プログラムのスケジュール

**6月**

活動計画打合せ  
現地活動の  
事前説明  
2022年度までの  
活動経過の共有

**8月中旬～9月**

第一回現地活動（2泊3日）  
地域資源の調査活動  
（各種体験、視察、ヒアリング）、関わりしろの調査、実践、地域住民・団体との意見交換

**11～12月**

第二回現地活動  
（1泊2日）  
提案施策についての  
試行、調査  
地域住民・団体との  
意見交換等

**10～1月**

オンラインによる  
地域との交流  
提案施策の検討、  
調査、試行

**2～3月**

地域住民、地  
域団体、行政  
職員を対象と  
した現地報告  
会

行政の支援：現地活動、オンライン地域交流会の支援  
地域住民、地域団体・組織、地域おこし協力隊OBとの連携・交流のセッティング  
地域内の移動、施設の案内や手配等

---

東大生と考える職業図鑑

地域の未来を  
変えていく！

高畠町商工観光課  
ブランド戦略係長 鈴木祐介

---

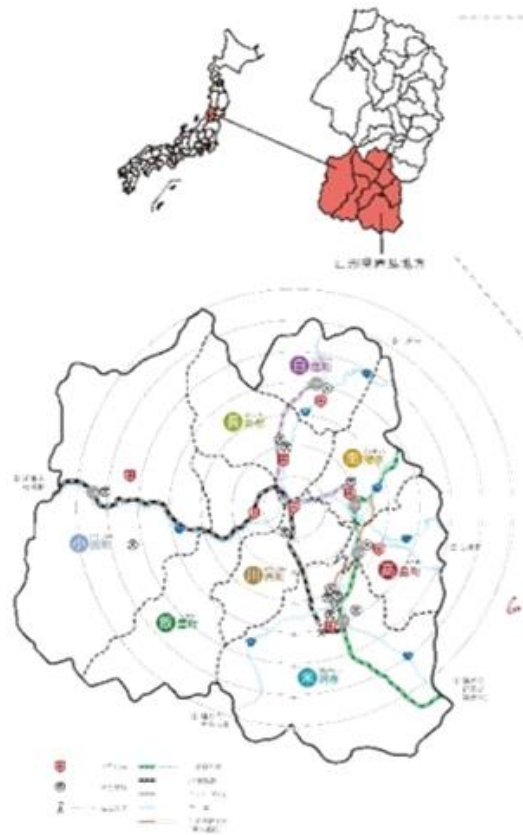
# 山形県高畠町とは

人口 約23,000人

東京駅から新幹線で2時間15分

1973年、近代農業が推奨される時代に、地域環境を大切に  
するため高畠町有機農業研究会を地域の若手農業者が立ち上  
げた。**有機農業**の分野では全国でも注目を集め、現在も有機  
農業水稲栽培面積は山形県内でトップを牽引し続けている。  
現在は、若手農家たちが「健康な食」を町内に広めることを  
テーマに活動をスタートさせた。

また、県内でも**食品加工業**が特出している地域であり、ジ  
ャムやドレッシング、ワイン、日本酒などが製造され、全国  
の百貨店等でも人気のあるものが多い。最近は、海外進出  
(輸出)を視野に入れた事業が展開されている。





魅力的なコンテンツが地域にはたくさんあるが  
**地域に関わる機会が少ない**



地域の魅力を知らずに、町を出ていく  
**若者の流出、地域力の低下、地域産業の弱体化**

地元中高生と地域で活躍する大人をつなぐきっかけ

## 東大生と考える職業図鑑（R4東大FS現地活動）

### リーダー経営人財育成塾

地元中高生



つながる

インタビュー



1. 町内でのフィールドワーク（地元学生と共に現地活動）
2. 探究学習等の授業時間を活用（現状分析、課題設定、事業計画等）

**高畠高校の魅力化のための新しいプロジェクトを考案、実践！**

地域の魅力を組合せ、町へ人が集まってくる  
**若者の流入、地域力の向上、地域産業の活性化**

**町独自の教育（体験）プログラムとして確立**

《実践プログラム例》

地元企業 × 高校

商品開発  
プロジェクト

農業 × 高校

食と健康  
プロジェクト

観光 × 高校

音楽FES  
プロジェクト

**高畠高校魅力化へのプロジェクト**（地元学生 × 東大生）

**東京大学FS**

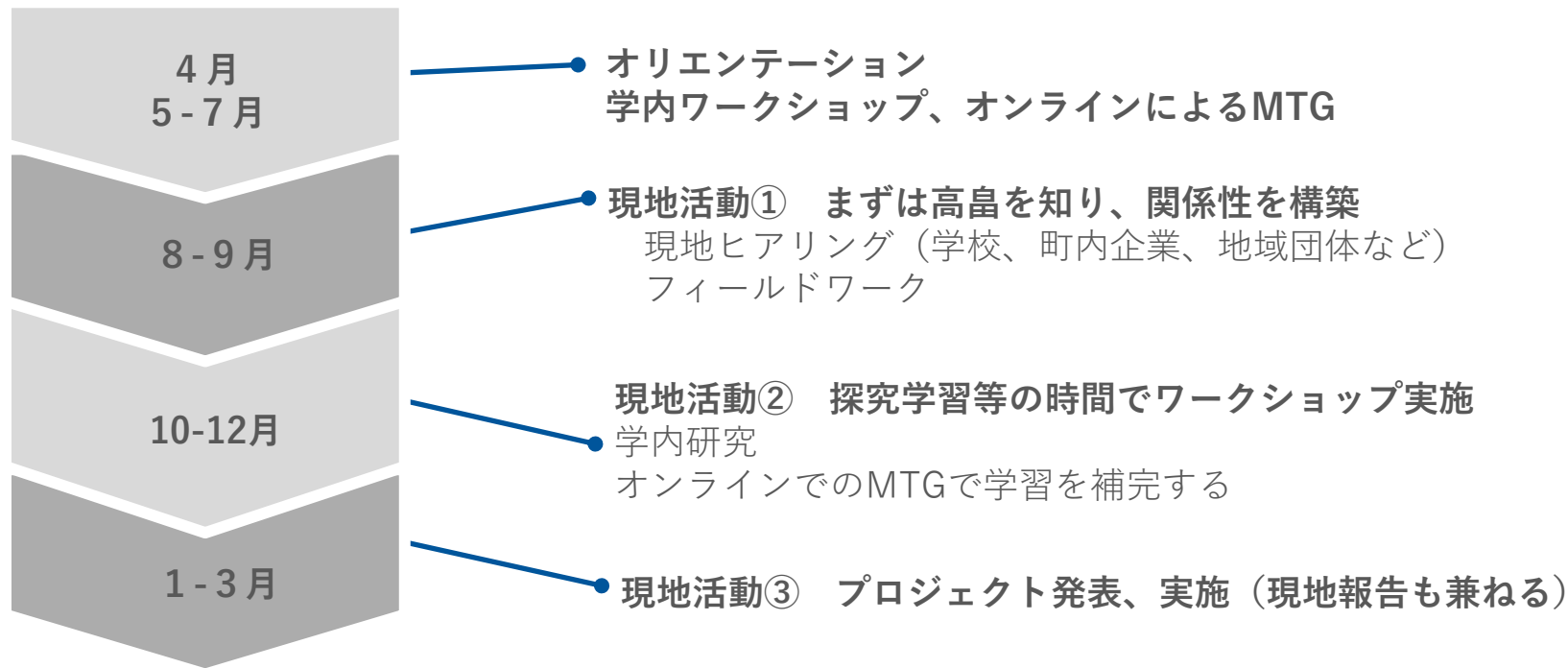
現地活動

フィールド  
ワーク

ワークショップ

オンライン  
MTG

# 2023年度東大FS 事業スケジュール（予定）



※現地活動の時期は、コロナ等の感染拡大状況を見て最終的に決定します。

# 2023東京大学FS

全線運転再開となった只見線を活用して  
住民自らの主体的なまちづくりを後押しする事業策定



かねやままち

# 福島県金山町

# 金山町概要

自然の恵みと 笑顔あふれる かねやま  
～思いやり 支えあいのまち～



位置/東経139度31分 北緯37度27分

面積/293.92km<sup>2</sup>

人口/1,780人 (2023.3.1現在)

世帯数/982世帯 (2023.3.1現在)

高齢化率/62% (2023.3.1現在)

特徴/特別豪雪地帯・はつきりした四季・JR只見線  
・只見川水系の水力発電所・超少子高齢過疎  
・お年寄りが元気

観光/温泉・沼沢湖・本名御神楽岳・霧幻峡・JR只見線

特産品/天然炭酸水・奥会津金山赤カボチャ・ヒメマス

特に力を入れている事業/移住定住・子育て・

公式キャラクター/かぼまる



# JR只見線とは？



福島県会津若松市の会津若松駅と新潟県魚沼市の小出駅を結ぶ  
全長：135.2kmのローカル線です。



新緑や紅葉、雪景色が美しい鉄道として有名です。  
金山町は、只見線の間地点です。

# 2011年7月29日 新潟・福島豪雨災害



## 橋梁流出等の被害 会津川口駅～只見駅間不通に！！

2017年 鉄道復旧合意（上下分離方式）

2018年 復旧工事起工式

復旧費 90億円（1/3 JR東・2/3 県・自治体）

11年ぶりに  
復旧

2022年10月1日 全線運転再開



運営費 約2.1億円/年（70%福島県・30% 地元自治体）





## 再開で盛り上がった町内 この賑わいをいつまでも

そのためには・・・

- ① 町民が只見線に乗る
- ② 町民が只見線で地域づくり
- ③ 只見線と共に生きる町

# 東京大学FSに期待すること

- 1 金山町民が只見線に乗りたくなるための事業を考えてほしい！
- 2 金山町民や民間団体が只見線を活用した地域づくりを行うための事業を考えてほしい！
- 3 金山町民が只見線を“地域の宝”として誇りをもつための事業を考えてほしい！

**2023 東京大学FS実施**

**2024 提案事業の予算化・実施**

**只見線のまちづくりの充実**

# ゼロから始める賑わいづくり ～原子力災害被災地からの挑戦～



福島県双葉町

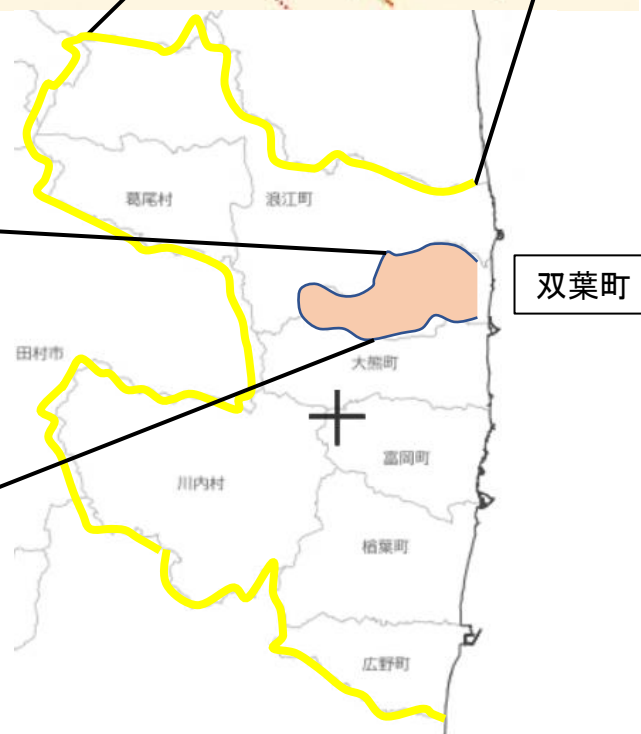
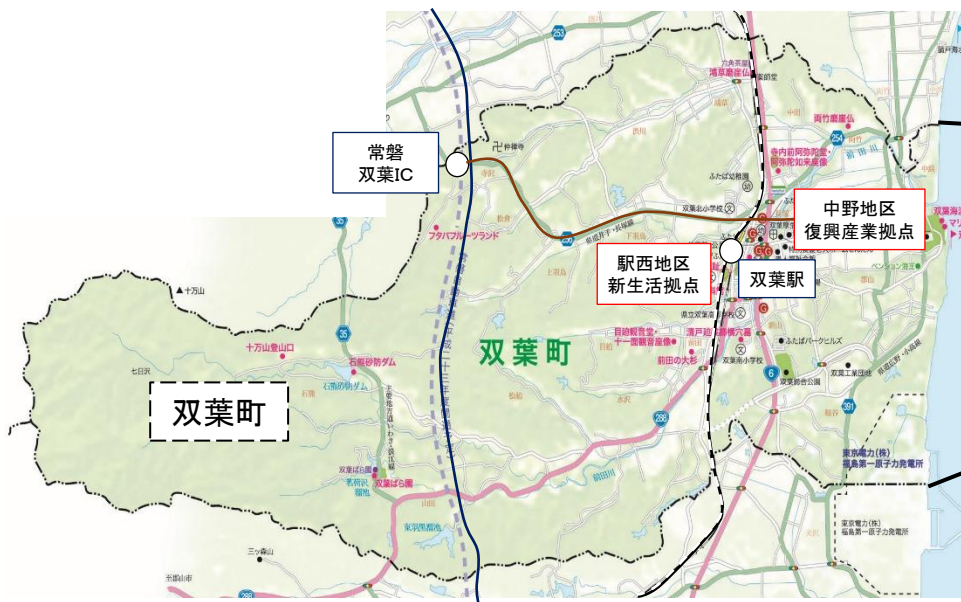
# 双葉町ってどこ？



<人口>  
約7,000人

<面積>  
約50km<sup>2</sup>

<アクセス>  
JR常磐線「双葉駅」  
東京から約3時間  
仙台から約1時間30分



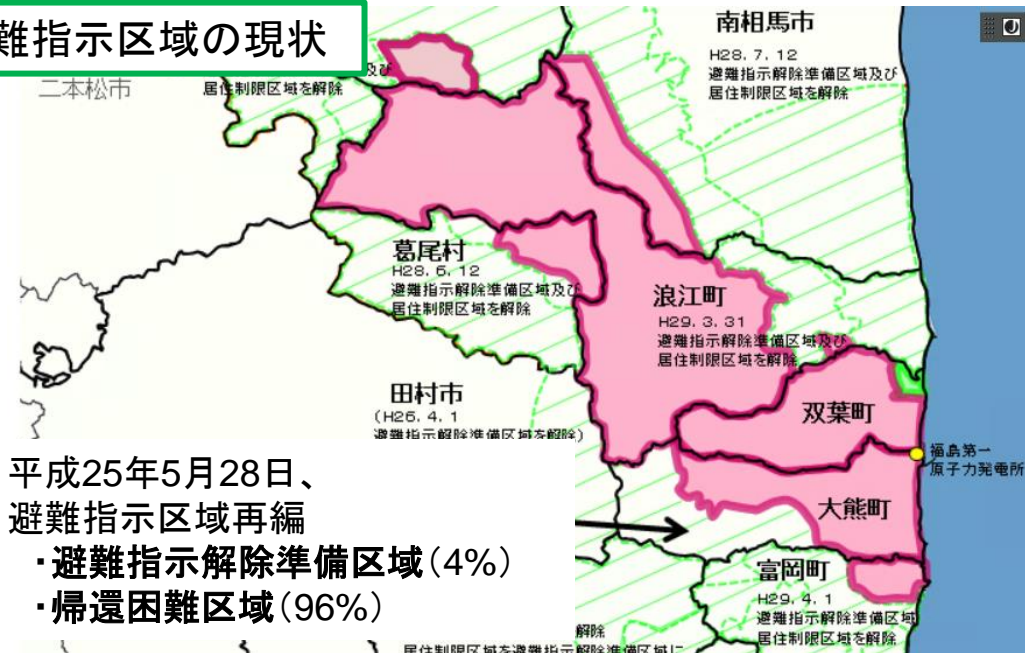
<被災状況>  
人的被害:死者179名  
津波浸水:沿岸部約3km<sup>2</sup>  
原子力被災:継続中

# ようやく町へ戻ってきました

## 発災時時系列

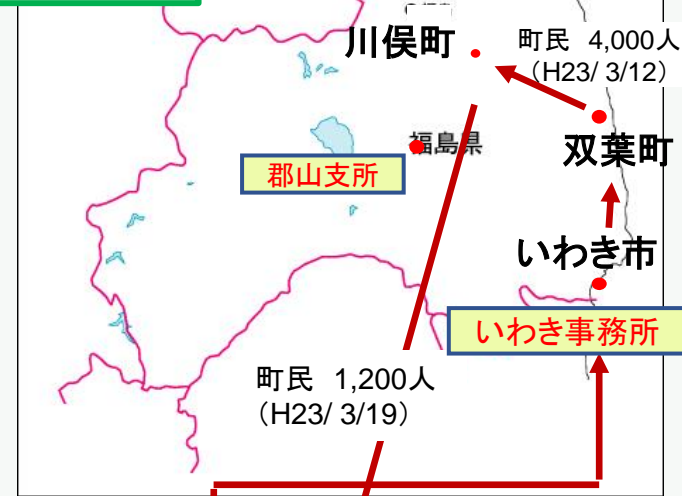
- 3/11 14:46 双葉町は震度6強
- 15:30頃 津波により約3km<sup>3</sup>浸水
- 19:03 原子力緊急事態宣言発令
- 21:23 第一原発から半径3km圏内の避難及び10kmの屋内退避
- 3/12 5:44 半径10km圏内の住民に避難指示
- 7:30 町災害対策本部で全町避難を決定
- 14:00 双葉町役場を閉鎖
- 15:36 第一原発1号機原子炉建屋爆発

## 避難指示区域の現状

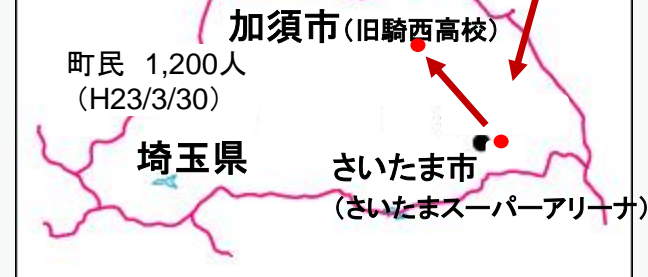


震災翌日から避難が始まり、県内外を転々としてきました。令和4年に避難指示が解除され、震災から約12年経ち、町に戻ることができました。

## 役場の避難先変遷



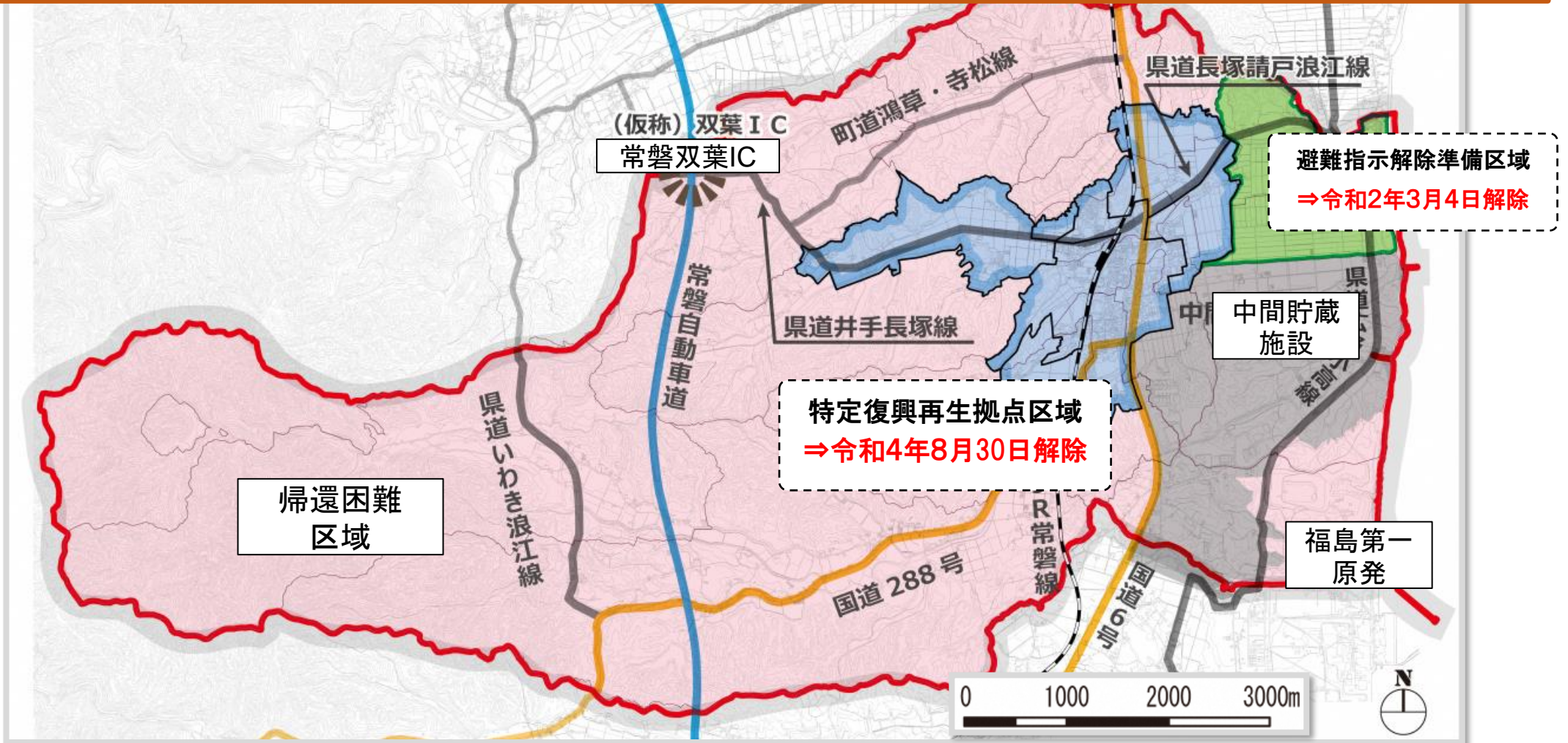
## 埼玉支所 (加須市騎西総合支所内)



H25/ 6/17 双葉町役場本体機能をいわき市南部へ移転 →震災から約12年を経たR4/9/5より双葉町内において役場再開

# “人口ゼロ”からのスタート

- 避難指示を解除されたのは町域の約15%にとどまる。
- 残りの約85%は帰還困難区域に指定されており、自由に立ち入ることができない状況。
- 大多数の住民は避難先での生活再建、高齢化により、戻りたくても戻れない状況
- 現時点で町内に居住しているのは約60名ほど。



# “空き地(ゼロ)”からのスタート



2013年



震災後10年以上放置された町は建物の解体が進み、空き地が広がる光景となっている。  
震災によりこれまでの積み上げが失われた町に賑わいを取り戻すにはどうすれば良いだろうか…。

2023年



# 活動内容・スケジュール(案)

## (背景)

- ・10年以上にわたり人が住んでいない状況を経て、まちづくりを行う町は世界を見渡しても双葉町だけ。
- ・何もない状況からどのようにして賑わいを復活させるかはここでしか取り組めないミッション。
- ・双葉町の厳しい状況は日本中から注目されており、難しさを粹と感じて取り組んでほしい。

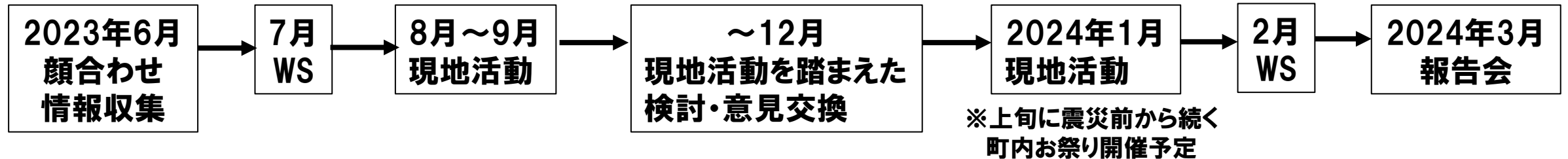
## (活動内容)

町内に広がる空き地を舞台に、小さくても将来に繋がる関係人口づくりのために「面白い」「可能性がある」と思ってもらえる活動の検討

## (期待すること)

多様な専攻、バックグラウンドを持つ学生同士が共に交流、検討することで斬新な発想が生まれることを期待しています。

## (スケジュール(案))





# 東布施地区 地域活性化アクションプラン の再構築



富山県黒部市東布施地区

# 黒部市（概要）について

## 【みどころ】

黒部川扇状地、黒部峡谷、宇奈月温泉街、清水(名水百選)

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅  
(東京から2時間半)



## 【特産品・、味覚】

魚（キジハタ、ヒラメ、ベニズワイガニ）、かまぼこ、黒部米、黒部名水ポーク、お酒、宇奈月ビールなど

ファスナー、アルミ建材、工業用ゴム製品、耐圧ホース、粘着テープなど

## 【その他】

黒部名水マラソン、くろべ牧場まきばの風ファームフェア、くろべ海上花火大会など

平成18年に黒部市と宇奈月町  
が合併

人口：39,928人  
世帯：15,744世帯  
(R5.2月末時点)



# 黒部市東布施地区について



黒部市東布施地区 黒部市と魚津市の境である布施川流域の東側に位置し、豊かな自然が残り、古くから守り伝えられてきた伝承文化を有しています。

人口：985人、  
世帯：367世帯  
(R5.2月末時点)



僧ヶ岳



行者ニンニク植え



炭焼き



中陣ニブ流し（県無形）

# 地域課題

市内でも特に東布施地区は、**少子高齢化が進み、人口減少に伴う、地域力の衰退、担い手不足、空き家、耕作放棄地**など

令和3年度 東布施みらい会議を実施【中山間地域話し合い促進事業を活用】



## 5つのアクションプランを作成

- ①地域住民が楽しく暮らせる交流の場やイベントを考える<住民交流>
- ②子どもの声が聞こえる暮らしやすい地域を創る<子育て・住みやすさ>
- ③豊かな自然を活用した体験、人を呼び込める観光・特産品を考える<自然体験・観光資源・特産品>
- ④住民を増やしたい！人口増加、移住定住を考える<移住・定住促進>
- ⑤東布施の自慢できる場所・コト・人を探す<地域PR・情報発信>

# 実行中のアクションプラン

- 令和4年度 東布施新公民館で広げよう交流の輪  
(令和4年度からの3年間の事業)  
→アクションプランの一部を実行

具体例：ウォーキング大会、ホテルの鑑賞会、布施の郷まつり、味噌作り、そば打ち体験など



東布施新公民館（R4,5完成）



期待

新たなアクションプランの作成  
または  
既存アクションプランのブラッシュアップ



更なる  
東布施地域の  
活性化

# フィールドワークにあたって



小澤泰史  
(元黒部市地域おこし協力隊)

退任後 東布施地区  
でゲストハウス  
「未完のサン」を開業



ゲストハウス「未完のサン」で宿泊して、東布施地区でのフィールドワークに参加していただき、地域住民との交流を通して、地域の魅力を感じていただきます！

# 続・無人駅プロジェクト

～「食」「場」「歩」を活かし、  
「のみのみの」駅利用促進策で  
地域を元気に！  
& 他の無人駅 (+地域) にも  
波及効果を！～



# 石川県 能美市 (のみし)



東

北

南

駅

西





# 駅の概要・課題



## 【駅の概要】

能美市唯一の鉄道駅  
「JR能美根上駅」

1日平均乗車人員  
約1200人（2019年度）  
→約1000人（2022年度）

2022年9月～  
駅員無人に

## 【課題】

サービス面の  
維持、治安の維持

駅利用者（鉄道）  
の増加

駅周辺地域  
の活性化



## 機 会

【2020年】能美市  
「SDGs未来都市」に

【2023年】国民文化祭、  
加賀立国・能美誕生1200年

【2024年春】北陸新幹線金沢～敦賀間開業  
並行在来線が第3セクター化（JR→IRいしかわ鉄道）



### ☆2022年度FS☆

「学生と地域が、  
『無人化駅』  
『まちづくり』  
『SDGs』で、  
能美の価値を共創!!」



・提案する3つのアイデア

駅員室の  
有効活用

能美市の  
グルメ販売

競歩大会の  
開催

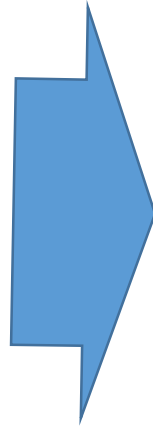
→能美根上駅に能美ならではの「のみのみのの」味を出す

# 学生のみなさんに期待すること



能美根上駅や  
駅周辺・能美市の現状、  
鉄道利用状況や  
2次交通の現状・課題を把握

2022年度FS提案を把握



- 「食」「場」「歩」を活かし、  
地域住民とともに共創し、  
提案を具体化、試行
- 市内の若者と連携し、  
SNSで情報発信

## 【ミッション】

「食」(ご当地・農業(有機・農薬不使用)) 「場」(駅員室、駅前広場等) 「歩」(競歩、キョーホ(共歩・協歩)、ウォーキング)  
を活かし、「**のみよみの**」駅利用促進策で地域を元気に！ & 他の無人駅(+地域)にも波及効果を！



# パートナー候補・スケジュール



## 【パートナー候補】



## 【スケジュール】

- (学生決定後) 顔合わせ、キックオフ  
(オンライン)
- 6月～8月…各種情報収集、調査、  
打合せ (オンライン、随時)
- 9月…現地活動
- 10月～11月…SNS情報発信試行  
打合せ (オンライン、随時)
- 12月…中間報告・現地打合せ
- 1月～2月…現地報告に向けた取りまとめ
- 2月下旬or3月上旬…現地報告会  
(3月…現地にて取り組み試行)

# 石川県能登町 能登の里山里海を紡ぐ関係人口創出

「のとをしる」から  
「のとにであう」へ

能登町を知り/行くきっかけをつくるイベント企画など  
FS5/6期の活動で出てきた課題を解決する



# 世界農業遺産「能登の里山里海」が体感できるまち



能登町

2020年国勢調査

◆人口 15,687人  
高齢化率 50.4%  
面積 273.27km<sup>2</sup>

◆就業者数 8,248人  
1次産業 16.9%  
2次産業 22.3%  
3次産業 60.8%

◆首都圏からのアクセス  
羽田空港～のと里山空港 60分  
空港から市街地まで25分



定置網漁・いか釣漁が盛ん



田の神様に感謝「あえのこと」



日本遺産「キリコ祭り」

# 数字的には無理ゲー → これをワクワクに変えたい！

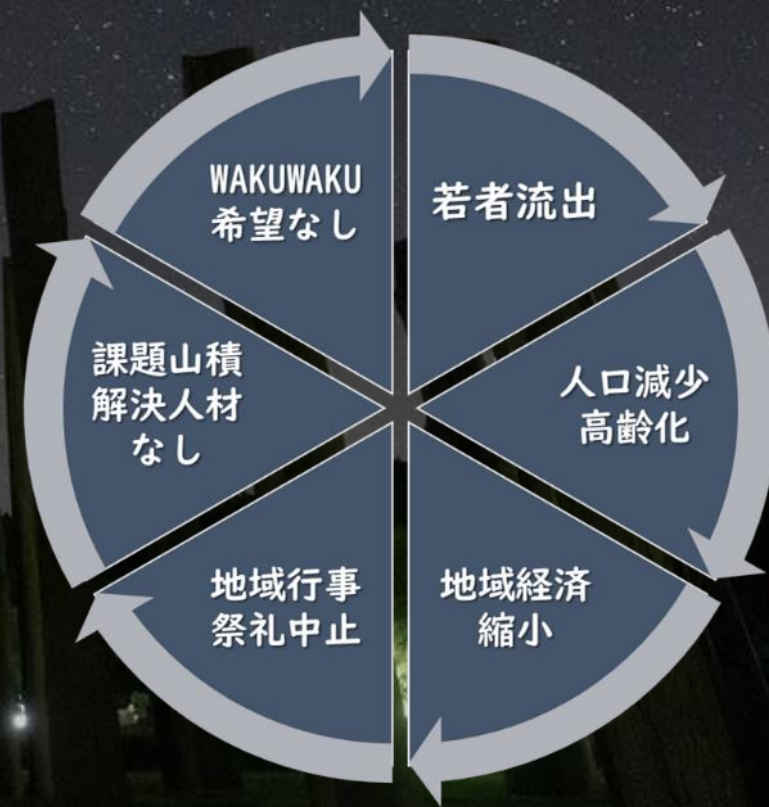
## 将来人口推計

	2020年	2045年
人口	15,687人	7,259人
高齢化率	50.4%	57.7%
※2045年	90歳以上が11.2%	

- ・ ライフステージごとの人が少なくなる
- ・ 過疎化による一人当たりの距離や空間が広がる
- ・ 高齢化による人口構造の変化
- ・ 就業者や地域社会の担い手の減少

能登の暮らしが受け継げない

## 若者流出から始まる負の連鎖



# 目指す姿 若者が集い 能登の暮らしを受け継ぐまち





# 石川県能登町

## 【活動概要】

- 募集人数 5名
- 活動地域 能登町全域/東京都
- 活動内容 「のとをしる」関係人口創出イベント企画運営@東京都  
6期の活動を引き継ぐ（note/Instagramの運用等）  
その他の企画提案等
- 活動期間 6月～ 顔合わせ@オンライン/オンラインmtg 月2回程度  
8or9月 現地活動/NOTO\_CHO実証実験効果検証 ICEを体験  
9月～ イベント企画運営/提案 オンラインmtg 月2回程度  
2月 現地報告会@能登町



# つるし 都留市

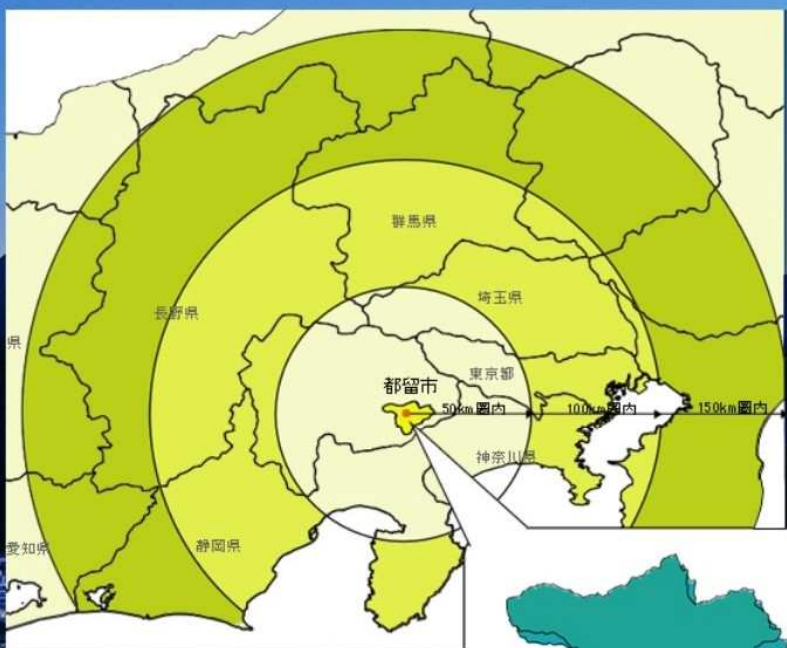
～富士の麓の小さな城下町～

2023年度  
フィールドスタディ型  
政策協働プログラム

## キーワード

- ・新しい学びの場・産業創出
- ・東京一極集中是正
- ・探究・好奇心・実証実験

# 都留市

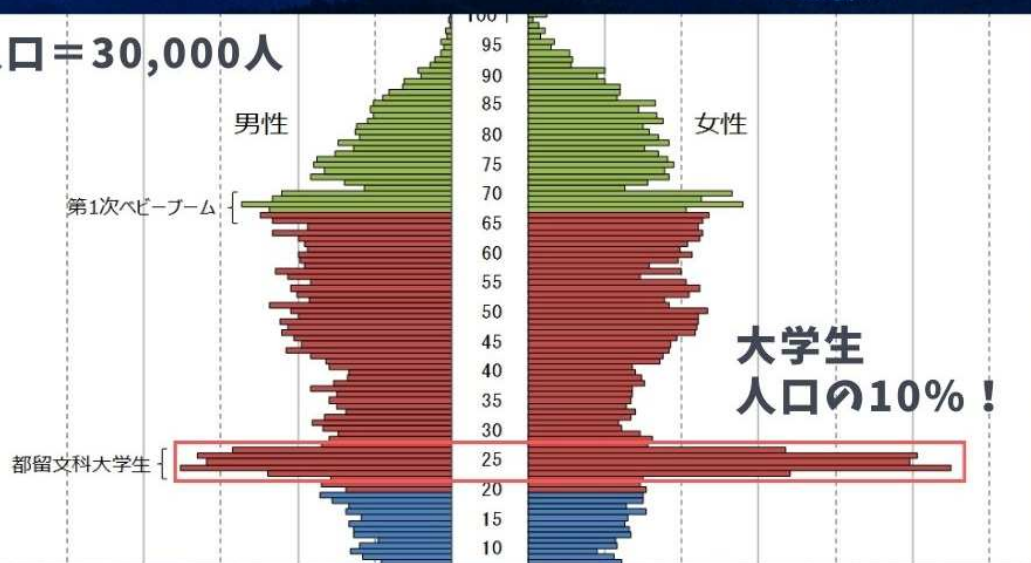


## 都留市

- ・新宿から90km
- ・電車で約80分
- ・車で約60分

- ・「生涯活躍のまち構想」のトップランナー
- ・市内に3つの高等教育機関が立地し、学びのまち「教育首都つる」を標榜（都留文科大学・健康科学大学看護学部・産業技術短期大学校）
- ・自然（富士山の伏流水・つるアルプス・自然体験施設・ワーケーション施設等）
- ・文化（城下町・おすそ分け精神）

人口=30,000人



# 都留市の特徴・課題

## 課題①

子どもたちの学び・地域への関心が低い  
**教育首都つるなのに！？**

→子どもの学習意欲が低い・・・  
学びの選択肢が少ない・・・

## 課題②

大学生や市内若年層など若者の就業先が少ない  
**毎年800名の若者が都留市に来ているのに！？**

→1%しか残らない・・・  
仕事がない・・・

○解決策のひとつとして○  
事業推進のため法人を立ち上げ  
探究まなび場「つるラボ」の運営を開始



## テーマ

探究まなび場「つるラボ」において  
実施する  
地域資源を活用した  
特色ある教育にむけた  
「探究プログラム」の検討

## 学生の皆さんへ

**「学び」へ向かうモチベーションを持っている皆さん！  
前年度に実施したFSチームの取り組みを発展させ、都留市の子どもたちに探究型の学びを提供してください**

## 期待すること

- 令和4年度FS事業の把握（合同MTGの実施）
- 都留市のこと、都留市の子どもたちのことをよく知る
- 都内の教育環境の現状を把握する
- 都留市において探究の種の発掘をする
- 探究プログラムの検討及び作成をする
- 作成したプログラムの実証実験をする
- 効果検証の手法の検討をする

# 活動スケジュール（案）

4/18

オリエンテーション

6～7月

オンライン打ち合わせ・学内での資料集め・既存の探究塾調査  
都留ツアー事前打ち合わせ・プログラム案の作成 など

8～9月

都留の資源発掘ツアー・都留の子どもたちの現状や課題の把握  
探究塾の講師人材育成現場見学 など

10～2月

探究プログラム作成・オンライン打ち合わせ  
追加調査・プログラム実証実験・効果検証 など

2～3月

報告会





# 地域に根ざしたゼロカーボンシフト

～経済と環境を両立させた真に持続可能な「暮らしふとモデル」を構想・提案～


長野県・辰野町

辰野町とは？

## 空き家・空き店舗、空き農地、増え続ける余白。 自分たちが欲しい町をみんなでDIYする、創造性育まれる町

- ・ 1日に2万匹！ 一人の高校教師の保全活動がきっかけで日本一のゲンジホタルの町に
- ・ 「休耕地に飛び込んだら面白いんじゃない？」 田んぼを活用した世界初スポーツ「どろん田バレーボール大会」
- ・ 「この里山は自分の庭だから」美しい里山景観を自分たちの手で守り続ける川島地区
- ・ 「シャッターは全部開けなくていい」自分たちが欲しいお店を誘致して、灯が灯り始めた「トビチ商店街」
- ・ 1000軒の空き家は資源。DIYで空き家が古民家カフェ、ゲストハウス、ライブハウスに再生。
- ・ 地域課題は、都市住民には「やりがい」になる。課題に関わる中で、関係人口になっていく「お困りごとトリップ」

一人ひとりが手作りする、住み続けたい町



メインフィールド「川島」

## 持続可能な暮らしを求めて移住者が絶えない。 環境先進地としてのポテンシャルも秘めた里山

- ・長野県で4つ指定されている「**移住モデル地区**」に選ばれるなど、移住の先進地域
- ・日本で**有数の松茸の産地**で数億円を稼ぐ重要な産業（松茸は世界の絶滅危惧種に指定された）
- ・地元シニアが50人以上所属する、里山保全団体「川島振興会」が**景観保全**に努める
- ・オーガニック農業など自然と共生した**サステナブルな農業**に取り組む**プレイヤー**が最も多い
- ・県内最新の**小水力発電所**が開設。クリーンエネルギーを発電、企業に売電
- ・生ごみを自動で選別し、堆肥にして農地に還す「**リサイクルループ**」事業がスタート

## 募集テーマ①

# 日本発のサステナビリティモデル「地域循環共生圏」をベースにした 未来の里山をデザインする

- ・ゼロカーボンシフト、生物多様性の回復などが世界的な重要課題に
- ・日本には、自然環境と経済発展を両立させてきた「里山」というエコシステム（地域循環共生圏）がすでに江戸時代から存在（現在の里山は過疎化、課題山積）
- ・里山の地域課題を解決するとともに、世界の課題である環境問題も同時に解決していけないか
- ・過疎が進む里山から、未来の里山へ。人と自然が共生する次世代の持続可能な地域社会モデルを辰野町の川島から想像・創造していく

### ＼例えばこんな提案アイデア／

- ・耕作放棄地を環境負荷の低い有機農業で再生、生物多様性の回復にも貢献
- ・森林に手を入れ、CO2を吸収する健やかな山へ。間伐材はチップボイラーに投入し、公衆温浴場に利用
- ・家庭から出る生ごみは共同コンポストで回収。堆肥をつくり、田畑に還し、野菜は再び家庭へ

個別の課題解決ではなく、それぞれを連関させ、いのちがめぐる地域循環共生圏の構想を描く

## 募集テーマ②

### ②森林を「負の遺産」ではなく、町の「資産」に！ 森林面積87%の辰野町で描く、森林活用×ゼロカーボンタウン

- ・日本の森林の多くは戦後に植林された人工林で、戦後70年を超え、今まさに伐期を迎えている
- ・人が手を入れないと、森林が荒廃して土砂災害が発生したり、人の暮らしにも悪影響が
- ・一方で、森林はCO2の吸収源でありゼロカーボン社会の実現にも重要
- ・クリエイティブなアイデアで森の新しい価値創出をしつつ、ゼロカーボンの地域づくりも実現したい

#### ＼例えばこんな提案アイデア／

- ・森林保全の結果として出てくる間伐材を活用した新商品づくり
- ・経済産業省が主導する「Jクレジット」のように、都市部の企業等を巻き込んで持続可能な森づくりとゼロカーボンを組み合わせた官民連携事業を構想する
- ・海外から輸入する石油に代え、地元の木を使ったバイオマス発電やストーブ・ボイラーを導入することで、地域経済の活性化と森林保全を両立

## スケジュール

まずは辰野町を五感で体感！できること・やりたいアイデアをじっくり育む1年間

### 6-7月：事前リサーチ

資料収集、月2回程度の勉強会・打合せ@オンライン

### 8月：フィールドスタディ①（2泊3日）

6、7月で調べたことを中心に、辰野町内でフィールドワーク

### 11月頃：フィールドスタディ②（1泊2日）

テーマ深堀、地域や高校生との対話など

### 12-1月：提案内容の深堀（各自&オンライン）

2月：現地報告会

3月：振り返り、まとめ

※実際のスケジュールは、参加学生の皆さんと相談しながら考えます。

6月なら  
ホタルも  
見られるかも？



# 学生と共に活動する

# “共創企業”の創出

滋賀県長浜市  
田根地区・地域づくり協議会  
地域おこし協力隊 堀田雅史

# 滋賀県長浜市 田根地区とは？



## 長浜市南部に位置する中山間の地区

- 自治会数 14
- 世帯数 559世帯
- 人口 1,460人
- 高齢化率 41.51% ※令和4年12月1日現在

	滋賀県	長浜市	割合
総面積	4,017.38km <sup>2</sup>	681.02km <sup>2</sup>	17%
内湖沼面積	673.17km <sup>2</sup>	143.18km <sup>2</sup>	21.3%
人口	1,408,193人	112,357人	8%
内65歳以上	374,114人	32,689人	8.7%
高齢化率	26.8%	29.6%	-
世帯数	584,714戸	44,577戸	7.6%

参考資料 滋賀県HPより  
「滋賀県の人口と世帯数(令和4年10月1日現在)」  
「滋賀県の人口と世帯数(令和4年10月1日現在)」  
「滋賀県の高齢化の状況(令和4年10月1日現在)」を引用



# 田根地区の紹介



## ■ 駅からのアクセス

- ・長浜駅 車で20分
- ・河毛駅 車で10分
- ・米原駅 車で30分

## ■ 周辺施設

- ・キテハ食堂 車で1分
- ・あねがわ温泉 車で3分
- ・須賀谷温泉 車で5分
- ・ローソン 車で3分
- ・ファミリーマート 車で3分

※所要時間は活動拠点からの概算

# 地域が抱えている課題

## ● 若者の流出

→ 大学進学や就職、結婚を機に若年世代が流出

## ● 空き家の増加

→ 若者が流出すると田根地区にある住宅に住む人がいなくなる  
既に潜在的な空き家候補も多数

## ● 生活の不便さ

→ 気軽に立ち寄れる場所や買い物をする場所が区内にない



# これまでの取り組み

- 古民家の改修
- 地域活性化の卒業論文の調査
- 小学生、高校生とのワークショップ
- お試し移住ツアーの企画
- 地元住民へのインタビュー
- 大学生による小学生への授業計画 等



多くの活動が「点」で  
終わってしまうため、  
「線」になるようにしたい！

そのために。。。

学生と共に活動し支えてくれる“**共創企業**”の創出が必要！





# これまで・これからの取り組み 詳細

## ■2022年度の実績

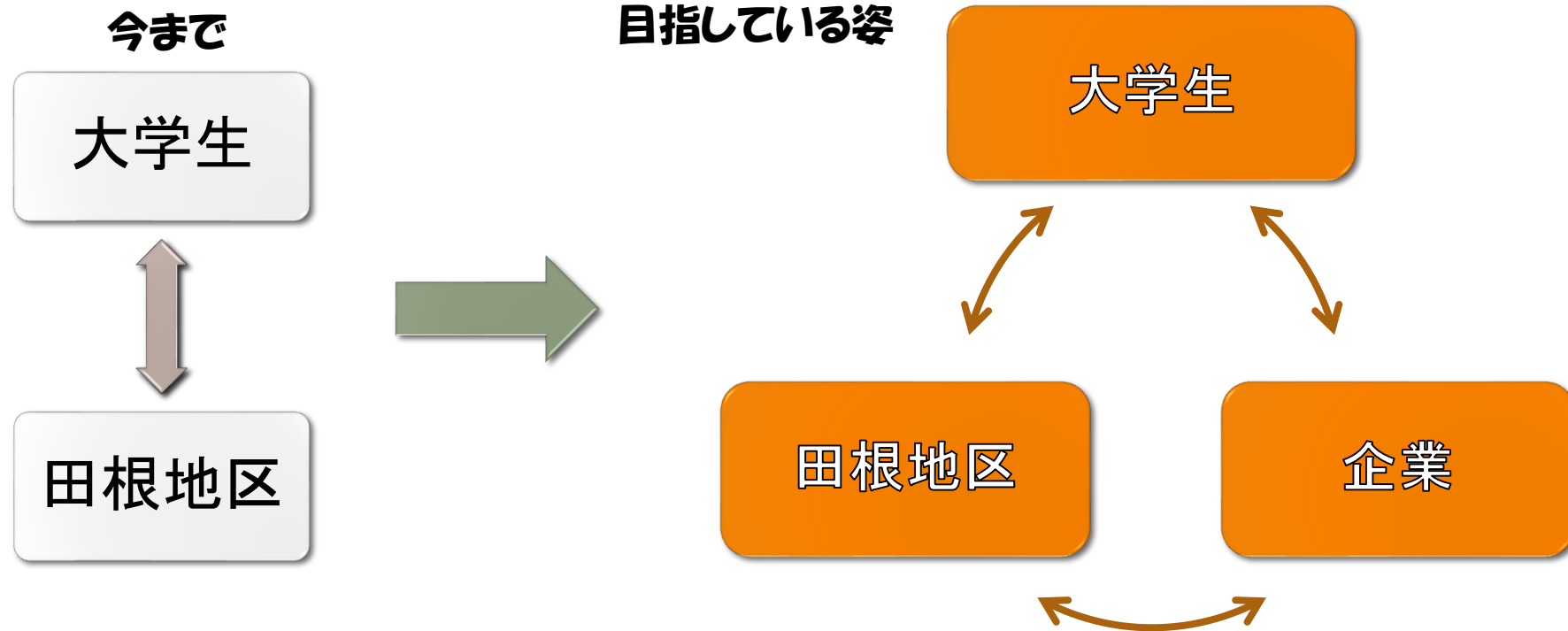
交流団体			内容
大学	東京大学	5名	東京大学政策協働型フィールドスタディプログラム「週末田根めぐり」
	慶応義塾大学 小林研究室(建築学科)	約30名 (所属は6名)	・空き家改修 ・田根小学校ワークショップ ・地域調査
	専修大学 大崎ゼミ	6名	卒論研究「収穫しよう！集めるタネは無限大！In田根地区」
	滋賀大学 森ゼミ	5名	ゼミ研究 住民インタビュー
企業	某メーカー	9名	みんなで作る“田根ラボ”プロジェクト
高校	虎姫高校	約30名	田根小学校ワークショップ
小学校	田根小学校	約10名	田根小学校ワークショップ

## ■2023年度予定 ※2023年3月現在

交流団体			内容
大学	東京大学		東京大学政策協働型フィールドスタディプログラム「共創企業の創出」
	慶応義塾大学 小林研究室(建築学科)	所属9名	・空き家改修 ・田根小学校 出前授業 ・地域調査
	専修大学 大崎ゼミ	未定	卒論研究「収穫しよう！集めるタネは無限大！In田根地区」
	滋賀大学 森ゼミ	未定	ゼミ研究 住民インタビュー
	京都橋大学	最大30名	クロスオーバー型課題解決プロジェクト

他大学と交流・連携しながらプロジェクトを進める予定です。

# “共創企業”の創出



大学生のメリット：社会との交流が増える

企業のメリット：学生や地域との交流でイノベーションが起こるかも

地域のメリット：関係人口の創出

# 学生の皆さんに期待すること

田根地区を知り、どのような企業が田根地区に興味を持つかリサーチし提案してほしい



“何か”が起こるかもしれない！



# 田根地区の案内人



## ★長浜市地域おこし協力隊 堀田雅史

2022年に神奈川県横浜市から移住してきました！

皆さんのフォローはお任せください！



## ★田根まちづくりセンター 所長 中嶋さん

お酒が大好きです(笑)

田根地区の地域活性化に熱い想いを持っています！



## ★長浜市役所 市民活躍課 寺村さん

人事異動がなければ一緒に活動します！

オンラインミーティングでは、たまにかわいい子供たちも参加します(笑)

その他にも、地域住民・他大学の学生も一緒に活動してくれます！





上富田町  
KAMITONDA TOWN

# スポーツによる地域振興と ウェルネスタウン構想





# 上富田町の概要

人口 15,712人  
世帯数 7,455世帯  
【令和5年3月1日現在】



## 【特徴】

中央部を清流・富田川が流れ、世界遺産の熊野古道(参詣道)が所在。『スポーツによるまちづくり』に取り組む自治体として知られる。

【スポーツに関するこれまでの取組】 ～主に来町者増に寄与するもの～

スポーツセンター(H7開設)、口熊野マラソン(H8～)、  
合宿誘致 など

## 【課題設定の背景】

①スポーツセンターは施設のグレードが高く、町のみならず紀南地域のスポーツ拠点

→町外の方の利用が増えることで、まちの賑わいや地域経済の活性化が期待される

②かみとんだウエルネスタウン構想を掲げて、現在、町民の生涯スポーツを振興

→スポーツと関わりを持つ住民が増えることで、町民の健康増進・介護予防をはじめ、まちづくりにおける住民の参画が進むと期待される

# 上富田スポーツセンターの概要

年間利用者 約 12万人

## 主要施設

野球場 / 球技場（天然芝） / 室内練習場 /  
テニスコート / グラウンド（天然芝・人工芝） /  
スポーツサロン（トレーニングジム）

## 利用団体

ラグビー・・・日本代表（男子、女子）  
サッカー・・・日本代表（女子）、横浜FC  
野 球・・・プロ野球公式戦（2軍戦）



## 上富田スポーツサロン

**定期的な運動習慣から本格的なトレーニングまで**

対応可能（プロスポーツ選手の合宿でも利用）

利用時間 9：00～22：00

定休日 毎月第3金曜日

## 通所型介護予防教室

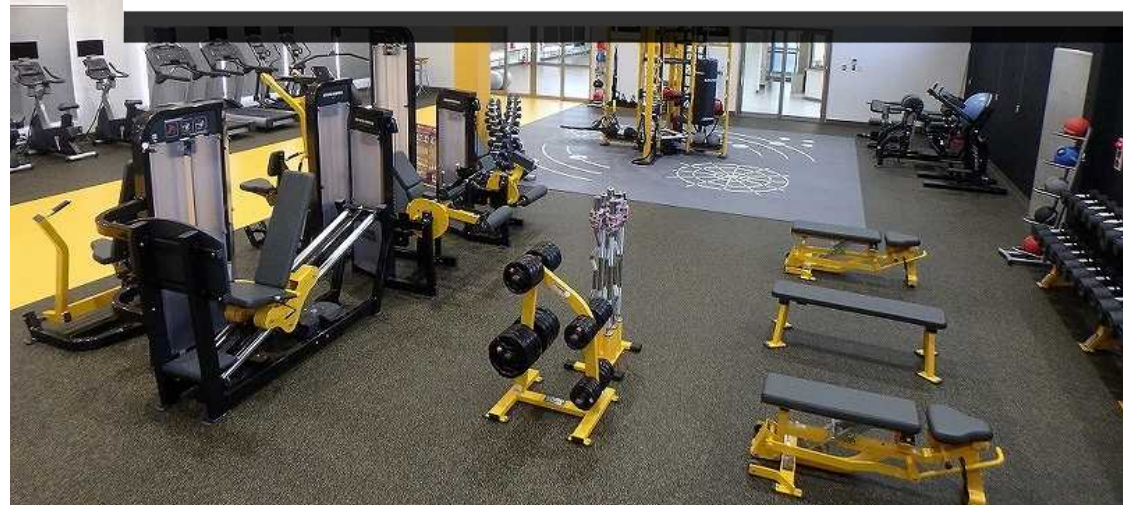
対象者 65歳以上の方、  
介護保険要支援認定者

開催日 週1回（月曜日） 送迎サービス有り

利用料 無料

内容 トレーニング器具を活用したストレッチ、  
筋力アップトレーニング 等

# スポーツサロンを活用した 住民の健康増進



## ■ 課題

【町外】 **スポーツセンターの利用人数の減少、平日利用の低迷  
合宿等誘客対策**（閑散期、平日利用 等）

【町内】 **スポーツジム利用者の伸び悩み  
住民の健康増進対策**（スポーツジムの利用 等）

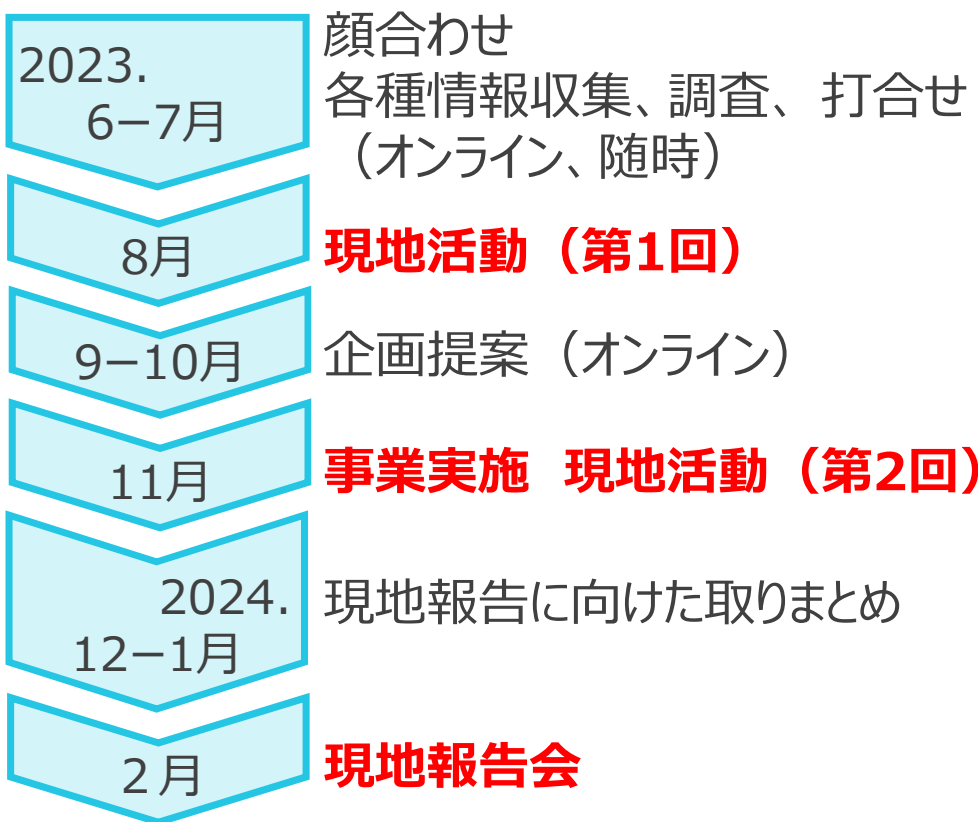
## ■ 学生の皆さんに期待すること

【町外】 スポーツセンターの利用者が増える**イベント、スポーツ施策の提案**  
（イベント：障害者スポーツはもとよりeスポーツなどの分野も可）

【町内】 住民の**スポーツとの関わりを高める企画の提案、  
健康増進の啓発**



# 事業スケジュール（予定）

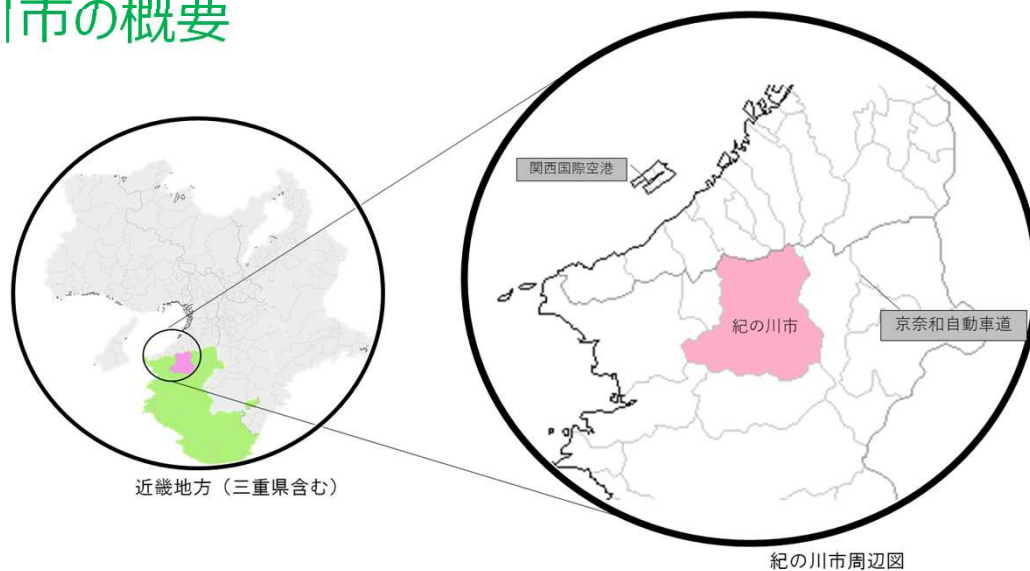


MISSION

「打田駅前エリアにおける空き家の利活用を通じたコミュニティの創出と関係人口の拡大」



## 紀の川市の概要



農産物直売所「めっけもん広場」



スカイスポーツ

- 人口 58,816人 (2020国勢調査)
- 総住宅数 27,580戸 (H30住宅・土地統計調査)
- その他空き家数 2,910戸 (H30住宅・土地統計調査)

- アクセス 関西国際空港から車で45分  
電車で1時間30分

※紀の川市は、旧打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町の旧5町が合併して誕生

## 現状

- 紀の川市全体ではH17年の5町合併以降16%人口が減少
- 打田エリアだけは、若年世帯の転入も多く、人口が微増している
- 人がいるはずの打田エリアでも「まちなか」には人通りは少なく、賑わいが無い

打田エリアの人口推移

	2000年	2020年
人口	15,194人	15,531人

- 古くからの町並みが残る粉河・那賀エリアをはじめ多くの地域で空き家が増加している
- 人口が増加している打田エリアも駅前エリアを中心に空き家・空き店舗が増加傾向  
→モータリゼーションの進展や大規模小売店の周辺への進出により商店街を中心としたかつての「まちなか」が衰退している
- 市内に近畿大学生物理工学部が立地するが、サードプレイスになり得る拠点がなく、学生などが集える場所がない  
※「サードプレイス」・・・家庭（第1の場）でも職場（第2の場）でもない、居心地の良い第3の場のこと



## 仮説

- 人口が増えている打田エリアにおいて人が集まれる場所が少ない
- かつての中心地である打田駅前エリアには空き家がたくさんある

空き家を利活用してコミュニティスペースを作ればまちなかに賑わいが生まれるのでは？

## 検証結果

令和4年度に数回イベントを開催するが、いずれも盛況

人が集まれる場所や機会のニーズが高いことが判明

「場づくり」の必要性



毘沙門堂の祭り  
(参加者約800名)



クリエイターによる合同展示会  
(参加者約70名)



## 課題

- 単発のイベントになってしまい、持続可能なコミュニティの形成ができていない
- 関係人口の関わりしるを十分に作ることができていない
- 若者の居場所や交流拠点の創出ができていない  
(学生へのアンケート結果によりニーズがあることは把握済み)

## 活動内容

- 活動地域 打田駅前エリア/和歌山県紀の川市
- 取組内容 ① 空き家を利活用した持続可能なコミュニティの創出  
② 空き家の利活用を通じた関係人口の拡大創出  
③ ①②を通じた打田駅前エリアの賑わいの創出

- 協力体制  
・打田駅前自治区の皆さん  
・株式会社CASEの皆さん  
・紀の川市地域創生課  
・那賀振興局地域課 他

### 【スケジュール】

6～7月	打合せ（紀の川市）、事前調査
8～9月	現地活動（住民ヒアリング、物件見学）
10～1月	学内研究
2～3月	活動報告会（紀の川市）

※別途、ふるさとワーキングホリデーも実施予定ですので、併せてご参加いただけます。



地域課題の解決に向け  
一緒に楽しく取り組んでいただける学生の皆さん

ぜひご参加お待ちしております



# 交流人口を呼び込め！

～ココビトが綴る日本の面影～



中海・宍道湖・大山圏域市長会  
(島根県松江市・出雲市・安来市、鳥取県米子市・境港市)

# 中海・宍道湖・大山圏域市長会の紹介



## ▼構成自治体

島根県:松江市・出雲市・安来市

鳥取県:米子市・境港市、西部7町村(オブザーバー)

## ▼人口

643,175人(R2国勢調査)

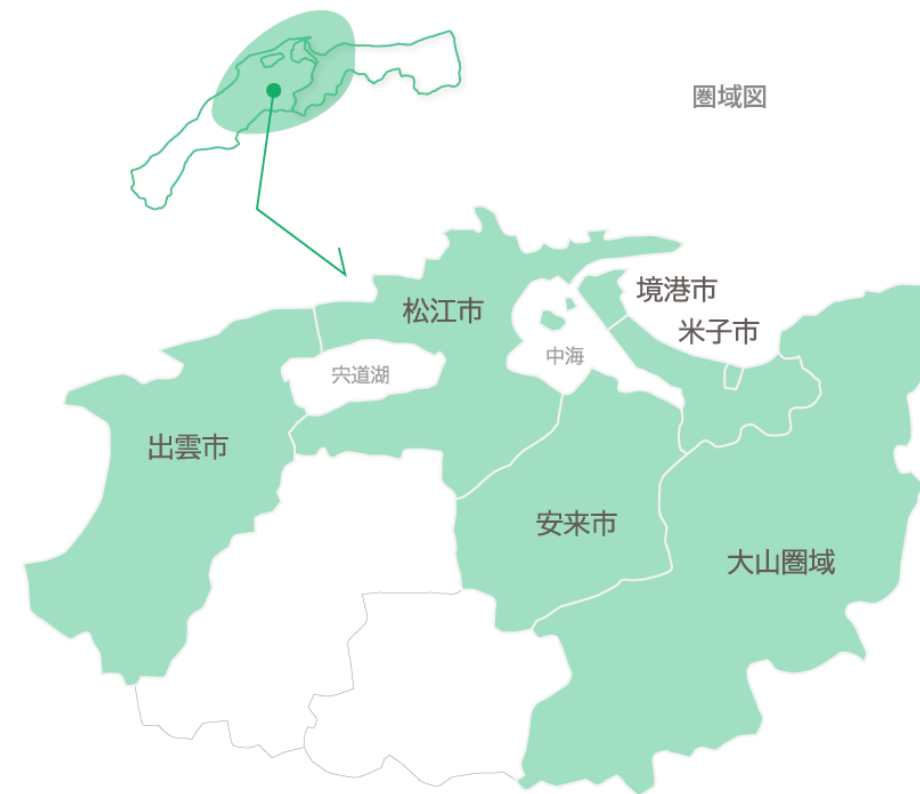
(山陰地方の人口 島根県 671,126人、鳥取県 553,407人)

## ▼圏域の特徴

この圏域は、全国で5番目に大きい湖「中海」と、7番目に大きい湖「宍道湖」、中国地方最高峰の「大山」を有し、ラムサール条約湿地や国立公園など豊かな自然環境と、神話の時代から連綿と続く歴史・文化も数多く残っており、恵まれた自然環境であるとともに、観光資源も豊富な地域です。また、特色ある産業、医療、福祉施設が集積し、山陰の中核的な都市圏です。

## ▼市長会の役割

中海・宍道湖・大山圏域の構成市の行政上の共通課題等について連絡調整を行い、圏域の総合的・一体的な発展の推進を図ります。



## めざすべき圏域の将来像

水と緑がつながる 人がつながる 神話の国から 未来へつなげる  
～あたたかも一つのまち 住みたくなる中海・宍道湖・大山圏域～

# 中海・宍道湖・大山圏域の観光資源

松江市

国宝松江城、玉造温泉  
国際文化観光都市、堀川遊覧船



境港市  
水木しげるロード、  
サイクリングロード



安来市  
月山富田城址、足立美術館  
安来節演芸館



米子市  
米子城址、  
皆生温泉、  
伯耆古代の丘公園



出雲市  
出雲大社（国宝）  
出雲日御碕灯台



大山圏域  
大山、とっとり花回廊



# 中海・宍道湖・大山圏域の課題



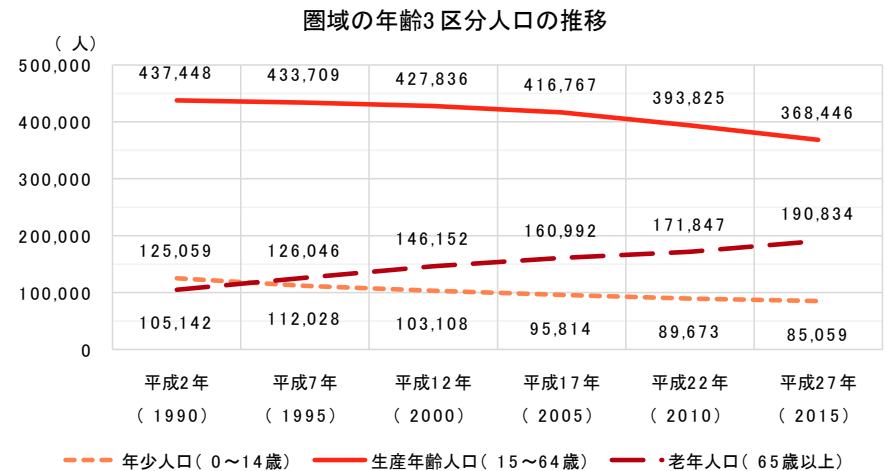
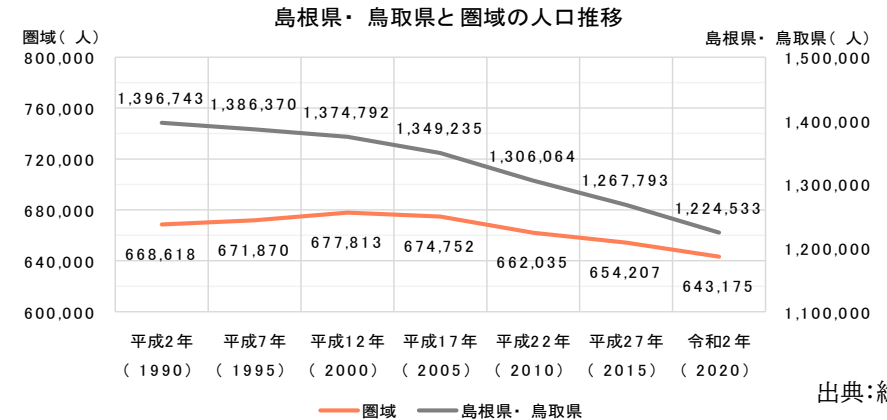
## ▼少子高齢化が絶賛進行中

- ・圏域5市の総人口は、2000年をピークに減少
- ・特に生産年齢人口の減少が顕著で、少子高齢化が進行
- ・各市とも画一的な状況ではなく、市街地から離れた田舎（中山間地域・漁村地域）で顕著



## ▼このままでは・・・

- ・農業や漁業などの衰退
- ・伝統産業や地域の伝統行事の消滅
- ・集落の維持が困難に
- ・限界集落が増えることで、圏域全体が衰退



# FSプログラムで提案いただきたいこと



## ▼課題解決に必要と考えていること

「少子高齢化が進んだ地域」の活力を維持していくために、まずは交流人口を増やしていき、関係人口へつなぎ、地域外のヒトとの交流を深め、ともに活動していく中で、地域の魅力が向上し、担い手不足の解消や移住定住につながるものと考えています。

## ▼学生の皆さんに考えていただきたいこと

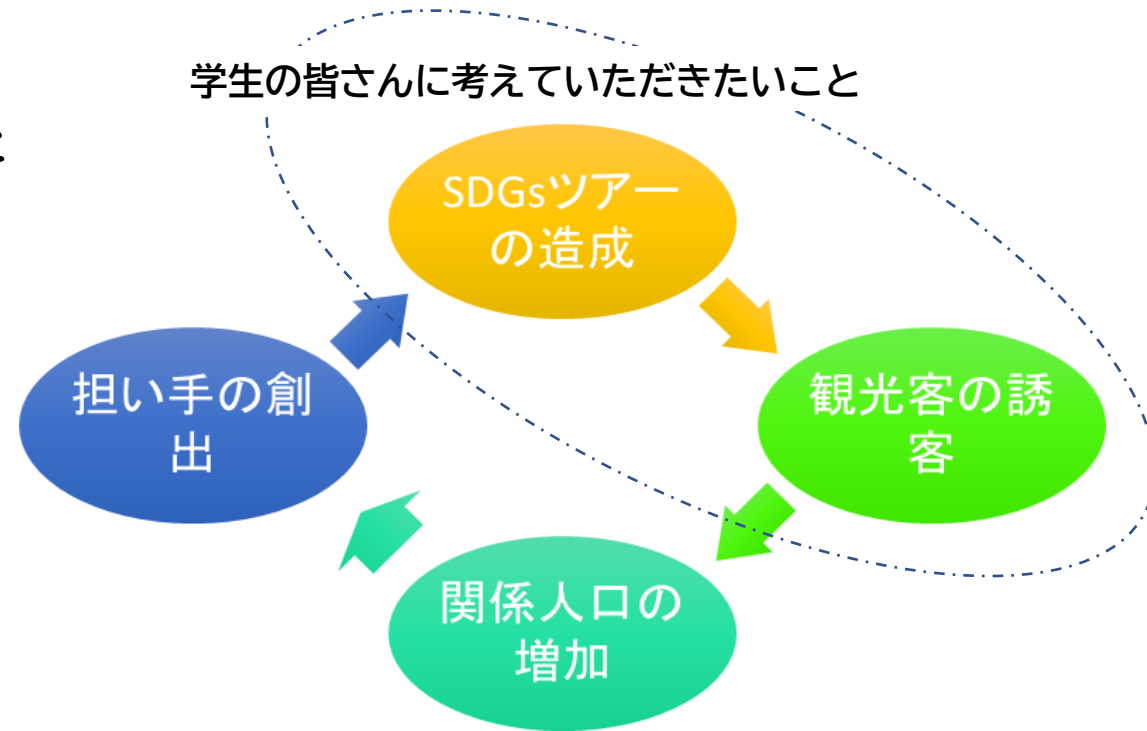
移住定住のための第1ステップ「交流人口の増加と関係人口への転換」について、地域のプレイヤーと連携して、歴史・文化・自然などの地域資源を活かした、地域や地域の人々と多様な関わり創出の提案をお願いします。

## ▼具体的には

### ・旅を通じたウェルビーイングの創出

地域の行事や伝統工芸、農作業体験など、地域課題に触れ、訪れる人(ツーリスト)が地域貢献による満足、自己実現を叶えられるような、ウインウインの仕組みや手段の提案

### ・SDGsの視点を取り入れ、SDGsツアーの造成につながるような提案







# 2023 FSプログラム事業スケジュール

## ▼プログラムスケジュール（予定）

【4月】  
・オリエンテーション

【6～7月】  
・オンラインMTG  
・事前調査

【8～9月】  
・第1回現地活動  
・第2回現地活動

【10～1月】  
・事後調査  
・提案まとめ

【2～3月】  
・現地報告会

※以上のようなスケジュールを予定していますが、参加学生の皆さんと調整しながら、進めていきます。



60<sup>th</sup>  
Anniversary  
土佐市制60周年

10年後の土佐市を語ろう

# Teens market

中学生対象

考え、工夫し、応用できる人材づくりを目指します

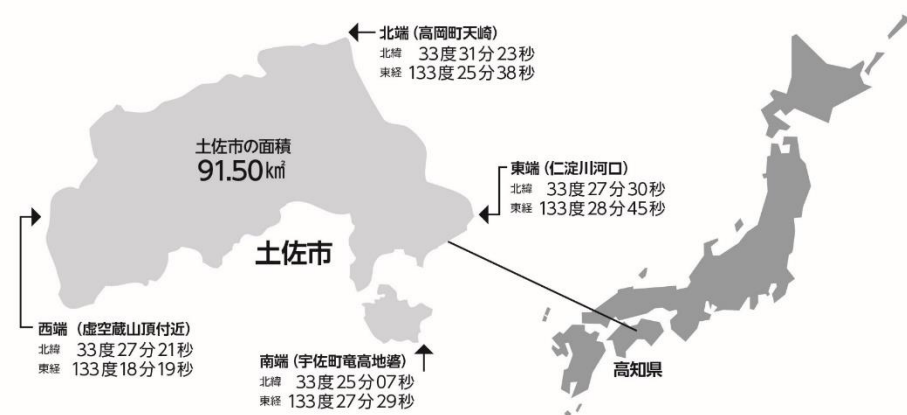
高知県土佐市企画財政課  
TEL088-852-7609  
kikaku@city.tosa.lg.jp

# 高知県土佐市とは

人口 26,273人

高知市に隣接する、  
海、山、川がそろった**コンパクトシティ**

## 土佐市の位置



改良土佐節



一本釣りうるめ



四国霊場八十八カ所“清滝寺”



土佐文旦



日本酒



四国霊場八十八カ所“青龍寺”

## 総合学習の授業

何となく知っちゃうでね〜♪



もし、自分たちがPRする時は  
どうしたらえいがやろう？

令和4年度 高岡中学校校内ハローワーク講座一覧

講座番号	職業・事業所等	講師名
1	NLPプラクティショナー あんま・マッサージ・指圧師・鍼灸師	井上 夏美
2	スポーツジム経営 元気クラブ	小松 弘和
3	ファイティングドックス 野球選手	西川 洸
4	土佐市立市民図書館長	森 笑
5	土佐市議会議員	池 宗二郎
6	公務員(自衛官)	野口 大貴 森澤 謙太
7	土佐市消防署 消防士	小松 寛幸
8	土佐警察署 警察官	野根 実 宮本 結月
9	土佐幼稚園	教頭 村田 有子 主幹教諭 板原 香織
10	土佐市立土佐市民病院 看護師	山岡 将也
11	薬剤師 高岡薬局	有藤 佳正
12	訪問看護ステーションI Am	森岡 義治
13	(株)クオリティオブローカルラ イフ土佐(ドラゴン広場)	小松 大修
14	株式会社 FULL DESIGN (フル デザイン) デザイナー	森澤 良典
15	金子生花店	金子 恭子
16	日本画家	中村 達志
17	農業(文旦農家・こうちファーム)	森田 修平
18	サンブラザ	森田 孝志

## 校内ハローワーク

- ① 地域で働く人々の思いや願いから、**仕事と中学校での学びとのつながりを理解**し、中学校での学習の意義理解や必然性をつかみ、生徒の**内的動機を向上**させる。
- ② 校内ハローワークの学習を通して学んだことを、**中学校での学習や生活に積極的に生かそうとする主体的な態度を育てる**。
- ③ 土佐市や高知県など、地域に存在する職業について学び、**職業についての理解**を深める。



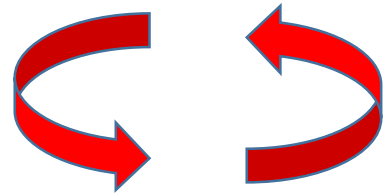
# 今回の取組に至った経緯

## 理論

- ・あるものに対する、知識の深化
- ・深化により見えてきた課題や分析

例えば人口減少、高齢化、歴史、文化など無限に存在するもので、大学等でも研究が盛んであり、経営学で言うと、戦略・財務・会計・マーケティング組織などの理論知識が存在している。

理論から実践



実践から理論

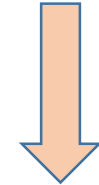
## 実践

- ・理論を理解したうえで、現実で問題解決を行う上での知識

どの分野でも必要となる行為であり、いずれ社会人になるのであれば、いつ経験しても良いものと認識

市内中学校

理論学習の授業



実践学習の機会

強化したい部分

(現状と課題)

- ・売価－仕入＝売上（利益）をわかりやすく理解する説明や決まったワークシートがない。
- ・指導者は、理論に関する知識が不足している方もいるため、中学生にどう指導したらよいかわからない。
- ・単発の取組が多く、新たに実施する際も1から構築するため指導者の負担が大きい。
- ・取組した結果の課題や解決策が共有できていない。等々

# 学生のみなさんに期待すること

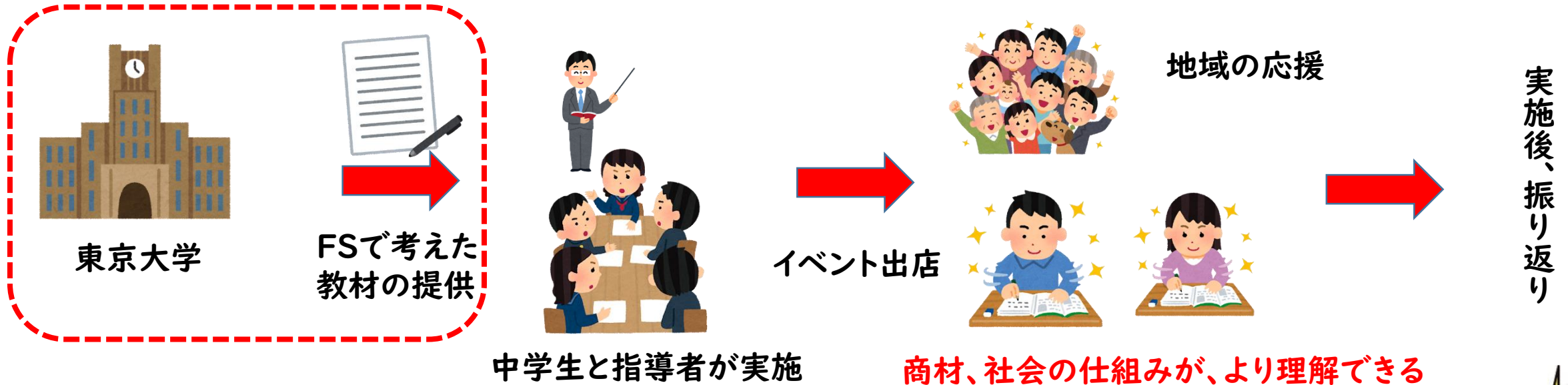
- ① 中学2年生が出店販売で使用する、**教材づくり**をお願いします。  
なお、商材を取扱う「小売業」の教材を想定しています。

組織での役割	中学生には役割を設定（社長、仕入、会計、販売、宣伝等）を担う予定です。東大生が考える、それぞれの立場で求められる活動などを言語化し、中学生が理解できる教材を期待します。
マーケティング オペレーション	「組織での役割」で設定したそれぞれの役割は、具体的にどう行動すれば、お客様に製品やサービスをどのように提供し、売り上げを創ることができるかについて言語化し、中学生が理解できる教材を期待します。
会計	特にお金の流れは重要だと考えており、「仕入、経費、売価、売上、利益」の言葉の意味や、計算方法などについて言語化し、中学生が理解できる教材を期待します。
その他	「組織での役割」「マーケティングオペレーション」「会計」以外で、欠かさない活動がありましたら言語化し、中学生が理解できる教材を期待します。

# 学生のみなさんに期待すること

② 中学2年生を教える指導者は、地域の方を想定しています。

教材づくりと併せて、**副読本(教材の解説)**の作成もお願いします。



この取り組みを、生徒と地域と学校の新たなモデル事業として、高知県内に発信したい！



# 2023年度東大FS 事業スケジュール(予定)

期間	内容	詳細	
開催直前まで			
2023年	6月上	オンラインワークショップ①	スタッフ顔合わせ、教材の構成確認及び次回までの宿題の共有
	6月下	オンラインワークショップ②	教材の作成に向けた取組の共有及び次回までの宿題の共有
	8月上	オンラインワークショップ③	教材の作成に向けた取組の共有及び次回までの宿題の共有
	8月下	オンラインワークショップ④	教材の作成に向けた取組の共有及び次回までの宿題の共有
	9月下	オンラインワークショップ⑤	教材実行に向けた指導者への支援(副読本について意見交換)
	12月	土佐市で行われるイベントへ出店	
2024年	1月	オンラインワークショップ⑥	出店後の振り返り
	2月	報告会	





子どもたちのやわらかい感性を、私たち大人たちがつぶすことなく、未来を担う子どもたちが、若竹のごとくしなやかに成長されることを期待しています。

(「討論授業が中学校の授業を変える」2015年発行 監修・編著者 竹内伸一 編者 土佐市から、土佐市長 板原啓文あとがきより抜粋)

皆さまのご支援、よろしくお願いいたします。

高知の中山間地から、

「高校生の学び」で  
「まちの未来」をデザインする。



一般社団法人

れいほく未来創造協議会



高知県土佐町

# I

## 「嶺北高校魅力化プロジェクト」

これまでの取り組み

**高**知県の中山間に位置する嶺北地域には、地域唯一の高校である嶺北高校があります。人口減少の煽りを受け、生徒数は一時67名(H30年度)にまで落ち込み統廃合の危機に。高校生年代の人口流出はその親世代の流出にも直結し、地域の持続可能性に関わる事態に。



H30年の発足当初から、「存続化」ではなく「**魅力化**」を旗印に、PJを開始。

「主体性」「地域創造」「多文化協働」を高校と地域が共通のスローガンとして掲げ、高校生の学びの環境の充実は勿論、地域の活性に資することを目指しPJを推進。

地域外からの生徒募集をはじめ、留学生受入のための「寮」、学力向上と多様なキャリア実現を支援する「公営塾」の設置、地域課題解決を目指す「探究学習」の創設など、急ピッチで改革に着手。取り組みが奏功し、R,4年度には全校生徒数108名に回復し、一時眼前に迫っていた存続の危機を回避する。



# II

## 「高校魅力化」の持続可能性

To be an attractive high school sustainably

### 「嶺北高校魅力化」は “成功した”のか？

今や高校魅力化の取り組みは全土に広がりつつあり、同じスキームを利用して全国募集を行う高校の数は100校にのぼるようになった。

地域人口の自然減は避けられない中で、これからの高校は、地域は、いかにあるべきか。

- 絶え間ない魅力づくり？
- 生徒募集のあらたなスキーム？
- そもそも何をもって「成功」と呼ぶのか？

問題意識



# II

## 「高校魅力化」の持続可能性

問題意識

“維持存続”のその先へ。

それは、日本の「地域」を考えるということ。

日本全国の基礎自治体のうち高校のない自治体は全体の3割であり、  
かつ4割弱の自治体には1地域に1つの高校しかない。

各地で、維持存続や特色化に向けた動きが進んでいるが、社会全体がシュリンクしていく中で、そのリソースには限界もある。

地方における高校の消滅は、

「教育格差の拡大」「学びの選択肢の喪失」といった直接的影響のみならず、我が国の「文化的多様性の喪失」すなわち「地域の消滅」にもつながりかねない。



# III

## 持続可能な学びの場づくり

“その先へ向けて”

【高校生を核とした学びと共創のネットワーク】



【現在地】

「避けがたい規模の縮小」

「リソース的限界」

「絶え間ない魅力づくりの必要性」



【目指す未来】

「“ネットワーク”であらゆる制約を克服、  
地域の魅力×多様な選択肢」

「高校生ら個々の活動自体が魅力に！」



# 2023東大FS テーマ/スケジュール(予定)

## 【スケジュール例】

## 【テーマ例】

~ 6月

- ・ **オリエンテーション**  
/オリエン,学生ヒアリング etc

7 - 9月

- ・ **現地活動**  
/現地での調査活動等

10 - 12月

- ・ **研究等**  
/現地調査に基づいた研究

1 - 2月

- ・ **現地報告会,WSなど**  
/研究結果を踏まえた発表機会  
学生,地域向けのWS実施など。

### 「嶺北地域における高校魅力化の価値に関する調査研究」

：学校/地域など様々なアクターの関わる高校魅力化PJにおいて、その意義や期待する価値、効用等について、質的量的に調査し、地域と高校の目指すべき未来の輪郭を明らかにすることを目的とした研究を行う。

### 「高校生と地域住民がともに学ぶ場の効用等に関する調査研究」

：高校生と地域住民が地域資源の発掘や新たな利活用について、ともに学び考える「とまり木の分校」事業について、効用や充実に資する視点を事業への一部参画を通して検証する。

※その他高校教育×地域の観点での自由なテーマ設定も歓迎します。



KAGURA



CHANKOKO



KAKE

# 島に残る伝統文化（神楽や念仏踊り「チャンココ」「カケ」など）の 子供たちへの伝承



長崎県五島市



# 様々な宗教が渡ってきた多様性文化の島

遣唐使や倭寇をはじめ五島は文書で記録された歴史遺産が古くから多くある地域の一つである。どのように島で始まったのか伝わっていないが、お盆には「チャンココ」、「オーモンデ」、「オネオンデ」、「カケ」と呼ばれる800年の歴史がある念仏踊りが家々を回ってくる。また、キリシタン大名が増えていた時期と同じくして広まった神楽は、この五島の地でも土着し、現代まで400年以上引き継がれている。

たくさんの子供たちと若者たちで盛り上がった祭



そして今。商店街から店は消えて、人が消えた。

しかし、かつてはハチクマたちの渡りのように、人もまた本土だけでなく、大陸とのつながりがあった。

9月下旬10月まで、毎日千羽を超える猛禽ハチクマの渡りを観ることができる。



# 五島市という自治体

- **概要** 五島市は、九州の最西端、長崎県の西方海上約100kmに位置している。五島列島の南西部にあって、総面積は420.12km<sup>2</sup>、10の有人島と53の無人島で構成されている。（五島市HPより）

- **人口** 34,956人（19,578世帯） 令和5年1月
- **移住者数** 245人（令和4年）
- **高齢化率** 41.5%
- **学校と生徒数** 令和4年4月  
小学校（14校）1,486人・中学校（10校）785人  
高等学校（4校）759人 **計 3,030人**

- **歴史と文化** 白村江の戦い（663年）後、新羅との外交関係が悪化すると、**遣唐使**は五島から東シナ海を横断し、波の高い外洋を通過する危険な航路をとるようになった。最後の寄港地にあたる五島において航海安全を祈り旅立った。その中には、天台宗を伝えた**最澄**と真言宗を広めた**空海**もあり、彼らに関する伝説が多く残っている。また**潜伏教徒の歴史**があり、市民に一定程度のカトリック教徒がおり、地域ごとに教会がみられる。

- **産業と観光** 赤サンゴを含めて宝飾品の製造が盛んだったが、資源の枯渇と共にブリ・真珠などの養殖業に切り替わり、高齢化や魚価の下落と共に養殖は大手企業による**マグロ養殖**、一般漁師は**定置網漁**に置き換わっている。地域によっては水源確保に苦慮しているが、コメ生産も少なくはない。毎年もち米も生産する農家では、「**かんころ餅**」をふかして干したさつまいもと併せて練り上げ作る習慣がある。これが特産品として観光施設などで販売されている。**ヤブツバキ**が山の中に自生しており、毎年2月になると「椿まつり」を開催している。



# 消える街 消える伝承

伝統芸能はかつては限られた各家族の中で脈々と残されてきた。しかし、高度成長期を機に、多くの人々が土地を離れ、継ぐべき家が消えていく状況が続いていた。

それに合わせ、地域に保存会が生まれ保存会が地域の子ども会や学校教育の場などで伝承活動を始めてきた。



## 失われる宝

これはもはや当市だけの問題ではない。今や日本中の伝統芸能が消滅しようとしている。今の人数でできる形に矮小化させて維持したりできる内は良いほうで、既に存在すら忘れ去られてしまった芸もまた少なくないとみられる。

しかし、驚異的な速度で進む過疎化の下で、伝統文化を子ども会や学校教育の場を使いながら子供たちに継承させるという取組みは限界にきている。地域にあった**学校は統合**され、町から子供たちの姿が消えた。

## 守りたい宝

# 遺すための先進的なアプローチを探したい

## Project 1 島外者の視点で島の伝統文化を考える

神楽や念仏踊りは全国どこにでもあるものだが、これらが、京都から直線距離で700km離れた五島に海を越えて文化が到着するまでには、「土着」「解釈」「装飾」などの**歪曲が生じた**に違いない。

### ✓ 都内でのワークショップ実施

まず地域住民以外の目線で伝統芸能を映像で観てもらった上で、これらの**伝統芸能の異様さや奇抜さ**を率直な言葉で評価して欲しい。また学校教材にするための斬新な方法を考えたい。

### ✓ 現地での座談会実施

五島に滞在して、外で感じた**異様な踊りや不思議な舞**を体験し、演ずる側の視点で面白さを体現した上で、地域住民や子供たちと遠慮なく語り合って欲しい。

## Project 2 感動と所作を数値化する（例）

伝統文化をデジタル映像で保存する等は自ずと進められると想定している。しかし、映像だけでは伝えられない面を補う方法を考えたい。

### ✓ 満足感の数値化

ワークショップ参加者のマインド変化を時系列で評価する。評価方法は将来的に比較できるように数値化したい。例えば**聞き取った感想をテキストマイニング\***などによって行ったり、所作については**バイオリッピング技法**を利用してはどうだろうか。

### ✓ 子供たちに伝える意義の再発見

課外活動の中で、学校教育の場に伝統文化継承を取り込む意義を再発見し、その有用性を**定量的に示せる材料**を上記の方法を通じて整える。

君との島での挑戦が過疎地を変え、日本を変える。

\* Jia, Susan. "Leisure motivation and satisfaction: A text mining of yoga centres, yoga consumers, and their interactions." Sustainability 10.12 (2018): 4458.

# 東京大学FS実施スケジュール



## 5・6月（適切な時期に対面では1回）

当地地域課題と当プロジェクトについての説明を東京都内で行う。ワークショップの実施。五島の伝統芸能を映像で紹介する。初めて伝統芸能を観た時に感じた魅力などを語り合いながら、当地の芸能を材料にしてこれからの「伝統教育の学校教材」とはどのような形が良いかアイデアを出し合う。

## 8・9月（現地で1回、補助的にリモートを利用しながら）

リモートなどで事前にチャンココなど保存会の方々との交流。実際に踊りを習うなどの体験する。また現地で実際に神楽の体験。チャンココや神楽を伝承する子供たちとの交流を行う。創案した「教材」が実際の学校現場で実働できるか、課題は何かを現地ワークショップで洗い出す。

## 11月

魅力の分析・学校教材プログラムの組み上げ。

## 12・1月

現地報告会準備

## 2月

五島市内において伝統芸能祭（別途開催を企画）の中で前半は演舞会、後半に報告会を交えたパネルディスカッションを行う。

なお当市プロジェクトの成果については、モデル校での実施と並行して、市広報への掲載だけでなく、関係学会での発表・学術論文への投稿で公表していく予定。



# 空き家バンク ドナー制度の 確立へむけて



長崎県 南島原市



# 長崎県南島原市、知っていますか？



## 3年連続の参加となる 「長崎県南島原市」です！



▲転生みそ五郎どん～ここは異世界？南島原～

▲突撃！南島原情報局【神回】

【人口】 42,485 (R5.1末時点)

【面積】 170.11km<sup>2</sup>

【弱み】 交通の便が悪い

空港から車で2時間

【強み】 自然景観豊か・人が親切

星がきれい・海や山がすぐそこ



### 話題性に富んだ映像♪

♪～マイメン島原手延そうめん  
いつメン島原手延そうめん～♪

「♪～マイメン島原手延素麺 いつメン島原手延素麺～♪」 一度聴いたら頭から離れな～い(;▽;)

## アクティビティの充実



▲イルカウォッチング



▲九州オルレ（南島原コース）



▲ボルダリング



▲SUP体験



▲サイクリング



▲気楽に登れる山

## 全国第2位の生産量

特産の「島原手延そうめん」の生産量は全国第2位を誇る。



やっちゃん  
うまうま

## 移住者が元気なまち



Picturesque Life in Minamishimabara



## 農業・漁業も盛ん



▲ タチウオ



▲ バレイショ





## 2021年

- LINE公式アカウントの活用
- ワークーションを通じた関係人口増加の取り組み



## 2022年

- 空き家ドナー制度の提案
- ワークーションパッケージを具現化



## 2023年

- 空き家ドナー制度の確立・試行
- 市出前講座：「空き家」に関する内容

これらを考えていくうえで、地域（集落）の理解、協力は不可欠であり、住民への効果的な説明方法、講座の構築をめざします！



## 空き家ドナー制度って？

空き家になる可能性のある物件を  
事前に登録しておけば、空き家になった際に  
市が賃貸や売買などの手続きを支援する制度。



### ▼2022年度FSの様子



地元の人と  
積極的にかかわって  
話を聞いてみましょう！

### ★現状と課題

1. 人口減少が著しい(減少率は長崎県内で一番高い数値)
2. 年々増加傾向にある空き家の数  
→環境面、保安面への影響大、全国的な問題へ
3. 空き家に関する住民の意識が「自分ごと」でない

### ★解決案

- ・空き家バンクドナー制度を確立  
→所有者が空き家になる前に利活用を考える
- ・地区説明会・市政出前講座  
→住民への効果的な説明方法、講座の内容を考える

### ★みなさんに考えてほしいこと

1. 住民に分かりやすい空き家ドナー制度の説明方法  
(事前・現地)
2. 地区説明会や市政出前講座の内容(事前・現地)

## 事業スケジュール

- 6月 2022東大FSメンバーとの顔合わせ・引継ぎ
- 7月 事前調査  
空き家ドナー制度など、先進地事例等による協議
- 8月 現地活動(1回目)
  - ・市内周遊、地域住民との交流
  - ・南島原市の各種体験実践
  - ・空き家ドナー制度、出前講座の試験的運用
- 8月～10月 事後調査(方向性の決定)
  - ・空き家ドナー制度の検証
  - ・地区説明会や出前講座の検証
- 11月 現地活動(2回目)
- 3月 現地報告会
- 随時 WEB会議による打合せ、SNSでのやり取り



## 本市を選ぶメリット

1. 市民や地元高校生との交流、美味しいおもてなしがあるかも～
2. 南島原市内のアクティビティを体験できる
3. 宿泊がお試し住宅利用のため、宿泊費用がかからない
4. お試し住宅の前に温泉施設があり、世界遺産や海辺がすぐそこ



### お試し住宅

※移住検討者に対して10日間を上限に無料で居住する住居を提供し、市の風土や日常生活を体験し、移住を検討してもらう施設。

## 最後に

- 地元の人と関わってみたい学生
- 市民向けの効果的な説明方法、講座の内容を考えてみたい学生
- 課題解決に向けて積極的に発言し、行動してくれる学生

一緒に頑張りましょう♪

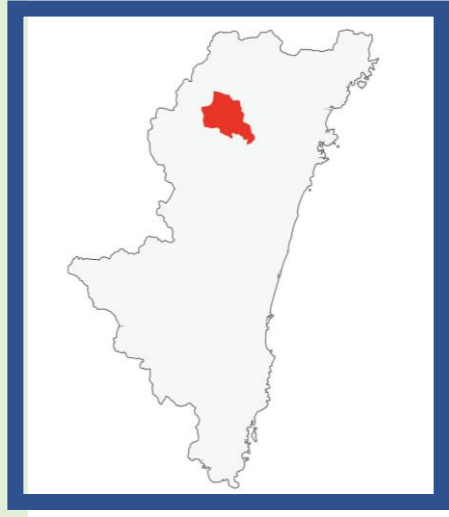


**2023年度フィールドスタディ型政策協働プログラム**

**宮崎県諸塚村**

# 宮崎県諸塚村

牛



人口1,389人 608世帯

面積18,759ヘクタール

林野率95%と平地が少なく山間に84集落が点在

## 諸塚村の四大基幹産業



林業



椎茸



牛



茶

# 諸塚村の特徴

- ・ 林業立村のむらづくり
- ・ 自治公民館制度
- ・ FSC森林認証を取得した森づくり
- ・ 世界農業遺産の認定



## ●FSのミッション：アクティブラーニング

- ・ 正解のない課題に取り組むことで、多様な中山間地域の課題に**主体的・協働的**に問題を発見し、解決能力を持つ人材を育成し、関係人口形成に繋げる。
- ・ 正しい答えを導くのではなく、答えにたどり着くまでの**過程(プロセス)**を重視し、実践に即した「使える対策」を求める。

# 過去のインターンシップ





# 日置市どこでしょう？



人口約47,000人

市花 うめ



日置市、知っています？👉

# 吹上浜

吹上浜はサーフィンなどのマリンスポーツや観光地引網、潮干狩りなど海のレジャーが楽しめます。  
また、江口蓬莱館では地元の新鮮な物産を購入できるほか、美しい景色を眺めながら魚料理が味わえます。

# 妙円寺詣り

鹿児島三大行事の一つとして名高い「妙円寺詣り」。  
関ヶ原の戦いで敵中突破を果たした島津義弘の苦難を偲ぶ伝統行事です。  
甲冑に身を固めた鎧武者の勇壮な武者行列は必見です。

日置市、知っています？👉

# 薩摩焼

格調高い「白薩摩」。風格ある「黒薩摩」。  
約400年以上の歴史を持つ薩摩焼。その伝統の技と心は今でも日置の地に息づいています。



日置市、知ってます？👉

せつぺとべ



背景

右の写真、何をしているところだと思いますか？・・・草払いです。  
**「おいのこの自治会は、草はれをする人がおらんじ、荒れて困っちゃうがよ。」**(訳：私のところの自治会は、草払いをする人がいなくて困っています。)  
 ←いくつかの自治会で出る意見です。また、企業においても同じような意見があります。



現状

日置市高齢化率35.4% (内訳：東市来40.8% 伊集院28.7% 日吉44.6% 吹上45.2%) (R4.4.1現在)  
 人口は、年々減少している。合併当初(H17.5)52,411人(国勢調査)→R4.4.1 46,658人(住民基本台帳)  
 各地区(26地区)においてみると、高齢化率73.7%、71.3%・・・45%を超える地区16地区⇒**自治会活動自体が存続できない**  
**○転出による空き家、空き地の増加 ○管理地の荒廃化 ○清掃活動(草払い)等の人材不足**

課題

**市民・企業の声：自治会管理地、空き地等、企業管理地の草払い人材がいらない**



17 パートナースHIPで  
 目標を達成しよう

これまでの取組

初心者講習の様子



大会の様子



- R4.8.6 草刈リーグの開催
- ・草払い人材確保と技術向上を目的に**草払いの大会**を実施
  - ・5人1組で草払いを行い、技術・仕上がりで審査
  - ・参加料支払1,000円(保険代金)⇔参加賞として「食事割引券」・「温泉入浴券」
  - ・初心者講習の開催

Column

人口減少、少子高齢化の時代、全国で地域の環境を守ることや、マが重要な課題になっています。その中でも特に草刈りは全国共通の取り組みでもこの課題に対して新しい取り組みを検討中です。

○草刈り機を上手に使うための講習会を開催

草刈り機を使うことで、安全性や作業効率の向上が期待されています。また、草刈り機を上手に使うことで、作業効率の向上が期待されています。また、草刈り機を上手に使うことで、作業効率の向上が期待されています。

市長コラム

「草刈りはスポーツ！」

○安全を最優先し、講習会を開催

草刈り機を使うため、講習会では安全を最優先としています。また、草刈り機を上手に使うことで、作業効率の向上が期待されています。

今後は市内外の草刈り愛好家の皆さんに呼びかけ、草刈り機の普及を図りたいと考えています。また、草刈り機の普及を図りたいと考えています。

「広報ひおきR4.9月号」

学生の皆様に期待すること

### 学生の皆様に期待すること

【地域課題の解決に向けた仕組みづくり】

- 草払い人材の育成
- 技術習得・草払いを目的とした本市への交流人口の増
- 草払いと連携した脱炭素の取組



期待することのイメージ

### 期待することのイメージ

○実際に草払いを体験して、社会課題解決のために観光資源としてツーリズム化できるかの検討

○草払いをスポーツとして捉え(スポーツ化)、継続的に草払いをしていただける仕組みづくり

←自走化するためのインセンティブ、モチベーション維持に何が必要か分析・検証  
←草払いの対価としての返礼についてどの程度あれば参加するか。(草払い後の対価として市内宿泊施設1泊無料券など)

○脱炭素に向けて、仮払い機の電気化などの技術を持つ企業とのタイアップの可能性について

←企業が参加しやすい環境づくりやCSRの観点からの企業側のメリットの整理

○企業の関心、バックアップ(資金・機材の提供)の可能性が有るかについて

活動内容

### 活動内容

●活動地域 鹿児島県日置市

●活動内容  
草払い人材不足の解消と地域との連携による『草払い』で人を呼び込む仕組みづくり提言



●活動期間  
6月から3月オンライン・現地  
(現地活動8月～9月 報告会3月)

〒899-2592

鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
日置市役所 総務企画部 企画課  
政策推進係 田中 誠

TEL：099-248-9403

メール：seisaku@city.hioki.lg.jp

# 地域と共に社会課題に挑む 関係人口創出プログラムの構築

鹿児島県  
東串良町・大崎町

# 東串良町・大崎町の概要（人口・位置等）

## 【東串良町】

人口	6,237人
世帯数	2,772世帯
高齢化率	36.7%
面積	27.78km <sup>2</sup>

## 【大崎町】

人口	12,385人
世帯数	5,906世帯
高齢化率	40.40%
面積	100.64km <sup>2</sup>

## 【主な特徴】

鹿児島県本土で一番小さなまち。

※品川区と同じくらいの面積

大隅半島のほぼ中央部に位置し、アクセスもしやすく、移住や二拠点居住に適している。基幹産業は農業。日南海岸国定公園の柏原海岸や古墳群など着地型観光を推進しています。

## 【主な特徴】

リサイクル率日本一(83.1%)

農業産出額全国17位(342億円)

ブロイラー生産量日本一

うなぎ生産量日本一の企業立地

パッションフルーツ生産量日本一  
(農協単位)





# 地域の課題

## 増え続け、多様化する課題

人口減少・医療費増加・空き家増加・担い手不足  
教育費負担 等々

## 課題対応がより困難に

社員・職員、人材が足りない  
後継者がいない  
財源・予算がない

## 解決への糸口、一手法

町職員（住民）自らのレベルアップ（1→2）  
外部からの情報・知識・人材登用（0→1）  
→誰が？どのようにやる？



# 今回のテーマ

## 1. 地域の課題を共に考え、解決に向けて取り組める関係人口の創出 及び継続的に地域との関わりを形成するプログラム開発

(活動イメージ)

当地域における地域課題の発掘やその解決手法を検討するためのプログラム開発とお試し移住体験等での滞在後も継続的に地域と関わる仕組みの検討

## 2. 社会課題を解決したいと考えているターゲット層へのプロモーション手法の検討

(活動イメージ)

自治体が実施する上記 1 で開発したプログラム等の施策を効果的に情報発信する手法の検討

# 課題に対するこれまでの取組（東串良町）



九州本土最南端、鹿児島県でピーマン就農体験

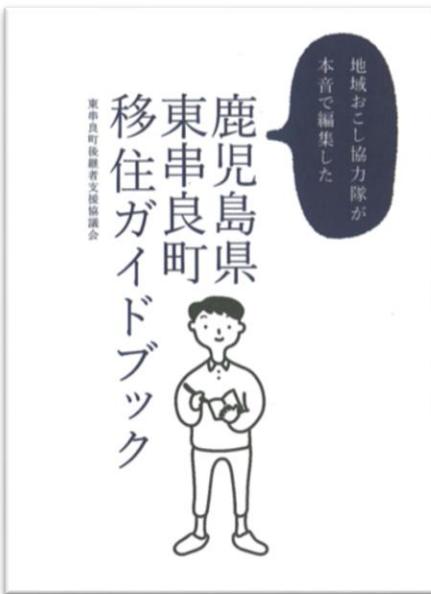
1位 古民家風住宅 宿泊 安定の収穫量

## 就農体験

鹿児島県 肝属郡 東串良町

東串良町での就農・移住に興味のある方へ体験プランを案内

- ①地域おこし協力隊制度の活用
- ②お試し住宅の活用
- ③移住ガイドブックの発行
- ④関係人口づくりのイベントを開催



約200区画完売の定住住宅用地



ハロウィンイベントの開催



300年の歴史ある柏原大相撲

# 課題に対するこれまでの取組事例（大崎町）

- ① 地域おこし協力隊制度の活用
- ② 地域活性化企業人制度の活用
- ③ 官民連携プラットフォームの設立
- ④ プロ人材とのマッチング



プロ人材との  
マッチング会



地域活性化企業人制度の活用



プロ人材による  
現地視察ツアー